

年次報告書 2024

(2025 年 6 月発行)



特定非営利活動法人
自立生活センターSTEPえどがわ



01 ごあいさつ

.....3

02 2024 年度事業報告

①自立支援事業

- 1)ピア・カウンセリング 講座5
- 2)自立生活 プログラム(ILP)8
- 3)自立生活 体験 ルーム「Yattemi~Na!」12
- 4)よろず 相談 (なんでも 電話 相談)・個別 相談13
- 5)自費 による 介助 派遣14
- 6)当事者 コラム
 1. 関口 悟 「セツキーの 喝!! ~自分で 考 えることを 忘 れるな~!」15

②権利養護事業

- 1)全国 キャラバン~鈴音 がいく! ~キリン 福祉 財団 助成 合理的 配慮 啓発 事業16
- 2)重度 訪問 介護 利用者の 権利 擁護
 1. 介助 が必要な 重度 障害者 だって 当たり 前に 就 労 したい19
 2. 介護 保険 移行 問題 と 医 ケアのない 障害者 の 時間数 交渉 の 課題22

③普及啓発事業

- 1)STEPの 防災に 関する 取 り 組 み23
 - 《コラム》事務 所内 避難 訓練・雑記24
- 2)地域 へのアプローチ
 1. ダンサナクセイバー活動 報告 (漫画・バリ 演)26
 2. 学生 へのアプローチ (大学 講義)27
 3. チャレンジ・ザ・ドリーム (職場 体験)28
 4. 江戸川 さんしょうがいフォーラム30
 5. 江戸川区 特別 支援 学級 学校 進路 フェア33
 6. 地域 生活 支援 拠点 等の 体制 整備 始動34
 7. パルレ 共同 勉強会 ~法律・条約 について 3 つのセミナー35

3)当事者 参画 (当事者の声を届ける)	
1. 東京都相談支援従事者研修検討会と江戸川区地域自立支援協議会…	37
2. 情報保障のあれこれ…	38
4)国際協力事業	
1. モンゴル研修 (JIL-JICA NGO型提案プログラム)…	39
5)イベント	
1. お花見とクリスマスパーティー…	45
2. 映画上映会「大空へ羽ばたこう」…	46
3. バリアフリー演劇「星の王子様」…	48
6)広報活動の報告…	50
7)外部との連携、啓発活動…	51
1. イベント、行事	
2. 検討会、委員会、地域連携業務等	
3. 視察、見学、研修、勉強会等	
4. 講師派遣、出前授業	
5. 取材、インタビュー、ヒヤリング	
6. その他	

④障害福祉・介護保険事業

1)利用者数・ヘルパー登録数・派遣時間数…	59
2)ヘルパー研修会…	59
3)利用者さん紹介	
1. 柳田空澄さん…	61
2. 木城かなえさん…	62
4)Youは何しにSTEPへ？(ヘルパー紹介)	
1. 菅原蓮さん…	63
5)人材確保の取り組み…	64

⑤養成研修事業

……………65

03 その他



1)期待の新人を紹介！「山田芽唯」「中屋なつみ」…	66
2)2024活動報告・2025活動方針・2024会計報告…	68
3)会員制度「ダンサなくし隊」の紹介「隊員募集！」…	79

01 ごあいさつ



りじちょう いまむらのぼる
理事長 今村 登

すてっぶ せつりつ ねんめ ねん こうしとも わす できごと みま
STEPえどがわを 設立して 22年目の 2024年は、公 私共に 忘れられない 出来事に見舞われた
いちねん
一年でした。さまざまな お 心遣い、ご 支援 をくださった 皆様に、この 誌面をお 借りして 改めて
かんしゃもう あ
感謝申し上げます。

この 22年の 間に、STEPえどがわにとって 印象深い 年、ターニングポイントを 迎えた 年というの
はいくつかありました。そういう 意味では STEPえどがわにとって 直接的 な 出来事というより、私
こじんおよび ぜんこくだんたい じる かつどう たいへん いちねん い み かんせつてき
個人及び全国団体(JIL)の 活動において 大変な一年だったという 意味ですが、間接的とはいえ、あ
る 意味STEPえどがわにとっても 大きなターニングポイントとなり 得る 状況 となった 年度になった
ことは 確かだ と思います。

インパクトという 意味では、ぶっちぎりで 妻の 急逝ですが、STEPえどがわが 加盟していて、私 が
ふくだいひょう つと ぜんこくじりつせいかつ きょうぎかい じる うんえい いちれん そうどう つま きゅうせい
副代表を 務めた 全国自立生活センター協議会(JIL)の 運営をめぐる 一連の 騒動は、妻の 急逝
と 全く無関係とは 言い難く、自分自身の 不甲斐なさ、やるせなさ、切なさ 等々、悲観的な 言葉を
あ づら こうじえん ふじゅうばん ことば かんじょう あふ だ
挙げ連ねたら 広辞苑 だけでは 不十分なほどの 言葉、感情 が 溢れ出します。

その 一方で、妻が 居なくなってしまうが 故に、嫌でも 規則正しい 生活リズムになり、その 結果こ
こ 数年 来 続いていた 体調 不良も 改善され 始め、新たな 一歩が 踏み出せたことも 確かですので、
いやはや、なんと 言葉では 言い表せない 複雑な 心境です。考 えてもきつとぴったりの 言葉は
み つかりそうにないので、この 複雑 極まりない 心境のまま、天寿を 全うするしかない と思っ
ていま す。ただ、妻の 存在がなければ、私 は 障害者の 自立生活 運動の 世界に入ることは なかったでし
うし、そもそも 障害者 にならなかった 可能性もあるので、そう となると 江戸川区に 住んでいなかった
でしょうから STEPえどがわも 誕生 していなかったこと でしょう。全国 団体の 活動なども っとあり 得
ません。そう 考 えると、STEPえどがわを 通じて、今、私 と 関わってくださっている 多くの 皆さんと
の 会 いもなかったはずなので、STEPえどがわをはじめ、今の 私 の 環境を 形成したのは ほぼ 亡き
つま こさま
妻：ゆり 子様ということになります。(この 体型もゆり 子様の せい ですから^^;)

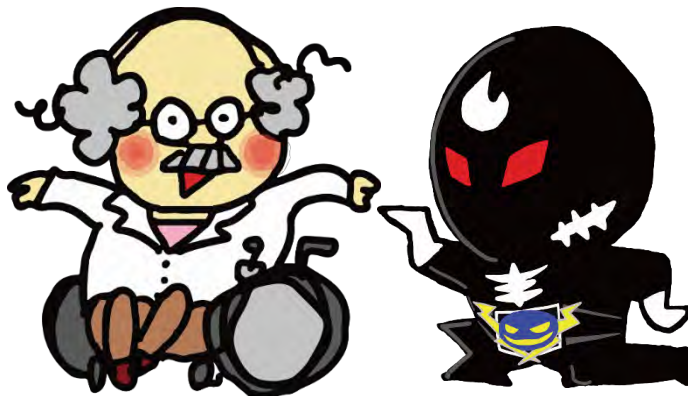
ほんとう ひと えん ふ し ぎ つま こさま な かげつ いま ところ せいり
本当に 人の 縁とは 不思議なものです。妻：ゆり 子様が 亡くなって 10ヶ月 ほど。未だ 心の 整理

がついたとは ^い言えませ^{しんきよう}んし、心^い境^{あらわ}をうま^{ことば}く^み言^わい^た表^しす^わ言^た葉^しも^た見^たつ^しか^しつ^して^しい^しま^しせ^ん。た^だ、私^わの^{しんせい}人^し生^は
は、こ^はう^はし^たた^はら^んば^んじ^{ょう}な^{しんせい}人^{うんめい}生^うと^なる^う運^{かんが}命^がだ^った^んだ^らう^とと^{かんが}考^える^よう^にな^りま^した[。]運^{うんめい}命^いと^い言^って^し
ま^った^ら「自^じ分^{ぶん}で^はど^うす^るこ^とも^でき^ない^もの[。]」と^と捉^とえ^て諦^{あきら}め^に近^{ちか}い^{しんきよう}心^{おも}境^はか^と思^われ^るか^もし^れ
ま^せん^が、そ^うで^はあ^りま^せん。奇^くしく^も20時^じ間^{かん}研^じ修^{けんしゅう}(重^{じゅう}度^ど訪^{ほう}問^{もん}介^{かい}護^ご従^{じよう}事^じ者^{しゃ}研^{けん}修^{しゅう})で^わ私^たが^ずつ^と言^い
い^{つづ}続^{ことば}け^もて^といた^だ言^{まつ}葉^い(元^も大^{だい}リ^ーガ^ー松^{まつ}井^い秀^ひ喜^で氏^しの^{こうこう}高^{こう}校^{じだい}時^{だい}代^の部^ぶ室^{しつ}に^か掲^かげ^られ^てい^た言^{ことば}葉^の)の^い言^う
^{うんめい}運^{めい}命^{です。}です。

^{こころ}心^かが^か変^{こう}わ^れば^か行^{こう}動^{どう}が^か変^かわ^るる
^{こうどう}行^か動^がが^{しゅうかん}変^かわ^ると^{しゅうかん}習^か慣^がが^か変^かわ^るる
^{しゅうかん}習^か慣^がが^{じんかく}変^かわ^ると^{じんかく}人^か格^がが^か変^かわ^るる
^{じんかく}人^か格^がが^{うんめい}変^かわ^ると^{うんめい}運^か命^がが^か変^かわ^るる

そう！^{こころ}心^もの^も持^{うんめい}ち^かよう^かで^か運^か命^はは^か変^かえ^られ^るの^{です。}です。

の^ここ^の残^{しんせい}り^{うんめい}の^よ人^よ生^を(運^{うんめい}命^を)を^よ良^よき^もの^にす^るた^めの^のス^たー^とト^ライ^ンに^{につ}か^せて^もら^った²⁰²⁴年^{ねん}度^どで^{した。}した。…と、
こ^の世^よを^さる^ま間^ま際^{ざい}に^{おも}思^えま^すよ^うに[。]。(ア^ーメ^ンそ^うめ^ん味^み噌^そラ^ーメ^ン…^{とし}歳^がバ^レま^すな[。]隠^{かく}し^ても^な
い^けど^{^^;};))



02 2024年度事業報告

①自立支援事業

(記:蛭川 涼子)

1)ピア・カウンセリング 講座

開催実績 2024年4月～2025年3月

めいしやう 名称	きかん ないやう 期間 / 内容	じっせき 実績
しゅうちゅうこうざ 集中 講座	にはくみつ か むいかかん 2泊 3日 / 6日間 しょうがい ひと さんか 障害 のある 人 のみ 参加 でき る しょしんしゃ 初心者 コース	だい かい すい 第1回 4/3(水)「ピアカンとは」 だい かい すい にんげん ほんしつ 第2回 4/10(水)「人間の 本質」 だい かい すい かんじょう かいほう 第3回 4/17(水)「感情 の 解放」 だい かい すい しょうがい 第4回 4/24(水)「障害 について」 だい かい すい あいえるびー 第5回 5/1(水)「ILP とロールプレイ」 だい かい すい 第6回 5/8(水)「サポートグループとアプリシエーション」 さんかしゃ めい ばしよ えどがわくとうぶくみんかん 参加者 5名 場所 :江戸川区 東部 区民館
ビギナーズ	はんいち 半日 しょうがい ひと さんか 障害 のある 人 のみ 参加 でき る たいけん 体験 コース	かい 1回 8/21(水) @ 江戸川区 東部 区民館 参加者 4名
たいけん 体験 セミナー	はんいち 半日 しょうがい かの 障 害 のあるなしに 関 わらず さん か たいけん 参 加 でき る 体 験 コース	なし 無

コロナ 前の 2019年 に 開催 したきり、開催 ができていなかった 集中 講座 ですが、2024年度 は、CIL ふちゅうの 堀内万起子 さんと 秋元 妙美 さんに 協力 いただき、実 に5年 ぶりに 集中 講座 を 開催 することができました！！江戸川区 内外 から 週 1回 通 っ て 参加 してくれた 5人 の 仲間 とと ても 良い 時間 を 共 有 することができました。

《参加者の感想》

じりつせいかつ ひがしやまと ほしの えり
自立生活センター・東大和 星野 詠理

じりつせいかつ はたら い じょう
自立生活センターで働いている以上いつかは講座を受けなければと思いつつ…カウンセリングなんて自分には必要ないと思っていたし、知らない人といきなり講座を受けていろいろな話を共有するなんて無理だと思っていたんですが、今回STEPえどがわさんで開催されると知って全然知らない人ばかりでないし勇気を出して申し込みしたのがきっかけでした。

いざ講座を受けてみると、最初はとても緊張していましたがピアカウンセリングについて勉強しながら参加者の皆さんと話してみると、相手の話を否定せずただ聞くだけでいいという事とか、時間を対等に取る事とか自分に出来ない事ばかりでした。仕事中心で話す機会が多いので会話をしている際はカウンセリングで学んだ事を思い出して気をつけるようになりました。

自分の障害について、悲しかった事など、普段は自分の中だけで閉じ込めておくことの方が多のですが皆さんに聞いてもらってとてもスッキリしました。この場だけだと思えば安心して自分の気持ちを話すことができました。

ねんれい しょうがい せいべつ ちが ひと
年齢も障害も性別も違う人たちでしたが、講座を重ねるたびお互いの事が分かってくる。最後にはとても仲良くなれたことがとても嬉しかったです。またプライベートでも一緒に

はなし おも
話 がしたいなと思いました。

ピアカウンセリングを最後まで受講できた事は自分の成長につながったと思います。お世話になりました、ありがとうございました。

しまむら まさし
嶋村 雅司(しま)

こうざ いちばんいんしょうふか
講座で一番印象深かったことは、五つの「人間の本质」です。自分が足りないのは「人間は、知識に満ちている存在」と「人間は、創造性にあふれている存在」の2点と感じました。しかし講義の中で『本来この五つは生まれつき持っているが、成長していく過程で失ったと感ずることが多い。しかしそれらは欠落したのではなく、傷つくことで隠して気づかないようになっています』と教えていただきました。

その後のセッションで隠した感情と向き合い想いを聴き・話すことで、自分が持っている本質に改めて気づき、自分を好きになること・認めること・さらに成長するために足りないものはなにか考えることができました。無くしたものがどこへ行ってしまったかを探したり新たに手に入れる努力をするのはとてもむずかしいですが、ずっと継続して持っているのにただ気づかないように自分が本質を隠していたとわかり驚きと共にココロが穏やかになりました。

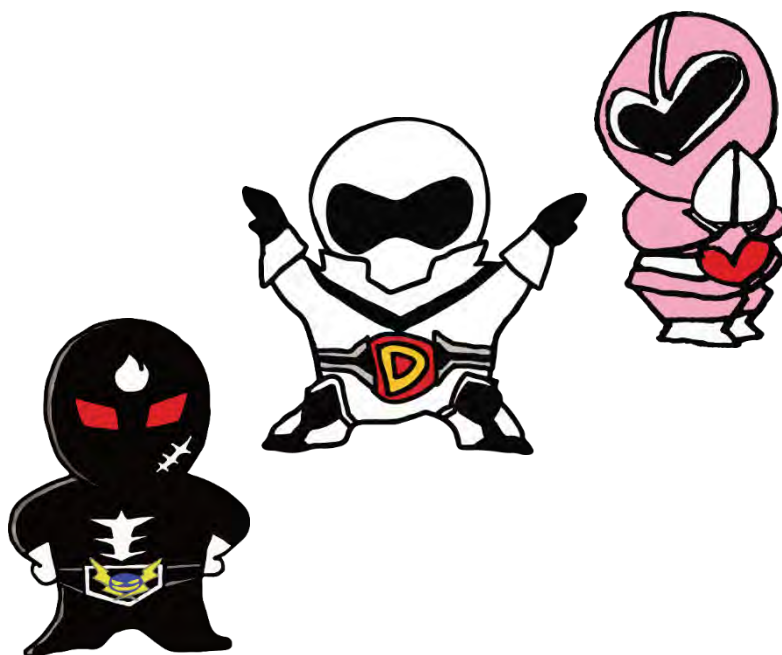
さまざま
様々なテーマについてセッションを繰り返す中で仲間の経験や考え方やその根っこにある感情など、自分だけでは知り得ないことが

わかり知見や感情の幅がとても広がりました。
いい・わるいや賛成・反対の二元論ではなく、淡
々とお話しや感情や想いを聴くことの大切
さとココロが通じ合うことのうれしさありがたさ
を学ぶことができました。

これからは自分のさらなる成長はもちろんの
こと、他の方のお役に立ちたいチカラになりたい
と思いますので、ピアカウンセリング勉強とセ
ッション実践を重ねていきます。貴重な機会を
いただきありがとうございました。



6週間に渡ってセッションを共にした参加者と
集合写真！ピアカの参加者10名がカメラに笑
顔を向けている



2) 自立生活プログラム(ILP)

ひとり暮らしに必要なことを一緒に考えたり、一緒に経験したりするのが自立生活プログラムです。2024年度も個別プログラムのみ実施しました。年間を通して5名の方とILPを行いました。

<2024年4月～2025年3月までの実績>

	じっしがいすう 実施回数
ひとり暮らしのイメージ作りをするための 体験ルーム利用の準備と振り返り	ごうけい かい 合計3回(5/29、6/6、3/18)【継続】
ヘルパー獲得のためのチラシ作り、ビラ配り 協力	ふていき ごうけい かい 不定期 合計6回(8/1、8/30、9/20、11/1、 11/3、3/14)【継続】
ひとり暮らしのための家探し、気持ちの整理	つき かい ごうけい かい 月1～4回 合計29回(4/18、5/7、5/14、 5/21、5/28、6/4、6/11、7/2、7/9、7/23、 7/30、8/6、8/13、8/20、9/3、10/1、10/8、 10/15、10/22、11/5、11/12、11/26、12/3、 12/10、1/7、1/14、1/28、2/18、3/11)【継続】
ひとり暮らしのイメージ作りをするための 体験ルーム利用の準備と振り返り【新規】	ごうけい かい 合計2回(5/5、6/3)
ひとり暮らしをするためのイメージ作り【新規】	つき かい ごうけい かい 月1回 合計5回(7/11、8/12、8/29、10/31、 11/14、12/19)【継続】

ひとり暮らしへ踏み切るタイミングは人それぞれ。障害者が自立への道のりで、何よりも大変なのは、親や支援者の心配からくる介入に振り回されず、自分はどうしたいのかを自覚していくことだと思います。そんなときは先にいろいろな経験をしているロールモデルの存在は大きいものです。STEPえどがわの当事者スタッフも、ひとり暮らしを始めた理由や親との関係はそれぞれ違います。自分以外の人の経験をたくさん聞いていくことで自分のことを振り返れるのもILPの特徴で、それは時間がかかることでもあります。

また、ヘルパーを獲得すべく、みずからチラシを作り、配ることも自立生活の一部なので、事業所に頼るばかりではなく自分専従のヘルパーを獲得したいという人にはチラシ印刷やビラ配りの協力もしています。

すいようどう
◎水曜 Do(どう)でしょう

2024年度は、やってみいたいことに ^{くわ} 加えて、STEPのイベントに ^{きよ} 寄与しようをコンセプトに ^{かつどう} 活動 をしました！

がつ 4月	ピアカン ^{しゅうちゅうこうざかいさい} 集中 講座 開催 のためお ^{やす} 休み
がつ 5月	・5/17 さんしょうがいフォーラムの ^{えるじーびーていーきゅー} L G B T Q イベント、パレード ^{よう} 用のレインボー ^{かざ} 飾り ^{づく} 作り
がつ 6月	・6/5 おしゃべり(企画 ^{きかくかいぎ} 会議)
がつ 7月	・7/27 【お ^で 出 ^か 掛 ^か け】葛西 ^{かさいりんかいこうえんすいぞくかん} 臨海 公園 水族館 …がまさかの ^{きゅうえん} 休園 で、イクスピアリ ^{さんさく} 散策 へ ^{きゅうきよへんこう} 急遽 変更！
がつ 8月	・8/8 (木 Do!) フルーツポンチ ^{づく} 作り ・8/14 ^{ねんじほうこく} 年次 報告 2023 の ^{ふうにゆうさぎょう} 封入 作業！ ・8/21 ピアカンビギナーズ ^{かいさい} 開催
がつ 9月	・9/4 3月に作った ^{すみかいきん} 墨 解禁！！ & ^{あんどうしゅうじ} 習字 ・9/18 ヘルパー ^{ぼしゅう} 募集 ちらし ^お 折り！
がつ 10月	・10/30 お ^{となり} 隣 さんからいただいた ^{きじ} 生地 を使って ^{つか} 何 を作るか ^{なに} 企画 ^{きかくかいぎ} 会議 ➡ クリ スマス会 の ^{かい} 参加者 への ^{さんかしゃ} プレゼントとして ^{きんちゃく} 巾着 を ^{つく} 作ることに！
11～12月	・11/13、11/20、11/27、12/4 ^{さいだん} 裁断 から ^て 手ぬい、ミシンを ^{くし} 駆使 して ^{きんちゃく} 巾着 25個 ^{せいさく} 制作！ ➡ 12/14 の STEP のクリスマス 会 の ^{かい} ビンゴ ^{けいひん} 景品 に！
がつ 1月	・1/29 ^{かきぞ} 書初め ➡ 2/22～23 の ^{えんげき} バリアフリー 演劇 のロビーでお ^{ひろめ} 披露 目
がつ 2月	・2/5 ^{はながみ} 花紙 を ^{まる} 丸めて ^は 貼り ^え 絵 アート ➡ 2/22～23 の ^{えんげき} バリアフリー 演劇 のロビーでお ^{ひろめ} 披露 目 ➡ さらに 3/9 の ^{しんろ} 進路 フェアのコーナー ^{かざ} 飾りに ^{かつよう} 活用 ♪ ・2/12 バレンタインデー ♥ チョコクランチバー ^{づく} 作り ・2/19 2/22～23 の ^{えんげきかいじょう} バリアフリー 演劇 会場 のための ^{はな} 花 ^{かざ} 飾り ^{づく} 作り
がつ 3月	・3/12 ^{りようしゃえいち} 利用者 H さん ^{ひでん} 秘伝 レシピ を ^{つか} 使って ^{とんじるづく} 豚汁 作り

ねんど すいどうーかつどうほうこく
2024年度 水Do活動 報告
(記:工藤 登志子)

2024年度は外部イベントや他の事業と重なりお休みとなる週も多く、毎週の開催は叶いませんでしたが、それでもプログラムがある日は毎回参加者が集まってくださいました。特に調理プログラムは人気が高く、参加者同士で教え合ったり助け合う様子も見られてとても良い雰囲気で行うことができました。

そして昨年最も印象深かったプログラムは何と言っても7月のフィールドトリップ! ちょうど学校の夏休み期間ということで、普段はなかなか参加できていなかった小学生の子たちも参加してくれました。ですが…こちらの確認不足で、当初行く予定だった葛西臨海水族園は定休日でした。現地に着いてから門が閉まっていることに気づき、「ガーン…!!」と青ざめた時のことは今でも忘れられません。本当に申し訳なく、参加者の皆様にはこの場を借りてお詫び申し上げます。

ただ、そのまま帰るのは寂しすぎるので近場で行けるところがないか検討したところ、舞浜のイクスピアリでも良いのでは!?となり、急遽行き先を変更させていただきました。突然の予定変更が苦手な方もいたので心配も少しありましたが、特に問題なく過ごせたようで、逆に参加者の皆様に助けられました。みんなでウィンドウショッピングをしたりアイス等を食べて過ごし、なんだかんだ楽しめていただけたようで良かったです。色々なハプニングもありつつ、「ま、いっか」と笑



って許せる気軽さが水Doの良いところだなあと改めて実感しました。

今後も水Doでは様々な企画を考えていきますので、興味のある方はぜひゆるっとご参加ください。

イクスピアリ:イクスピアリのディズニーストアの
でみんながピースしている集合写真



フルーツポンチ：山盛りのスイカの^{やまも}前で^{まえ}嬉し^{うれ}そうに
ピースする^{えーくん} A 君。^{すてっぶ}STEPのコーディネーターたちも^し仕
ごと^{あいま}の合間に^て手伝い^{つだ}に^き来てくれました。



タコパ：^{ひとりぐ}一人暮らしの^{せんばいえず}先輩 S さん宅で^{たく}タコパしている^{ようす}様子。^{じりつ}自立に^む向けたアドバイスもい
だけました♪

3)自立生活体験ルーム「Yattemi~Na!」(やってみ~な)

Yattemi-Na(やってみ~な)は、自立生活を
目指す障害者が、地域内にあるマンションに
て、実生活体験をすることのできる場所です。
部屋には電動ベッドやトイレ・浴室用のリフトの
ほか、ミニキッチンや洗濯機も設置されています。
ILPを通して、自分に必要な介助内容を
確認したり、実際に福祉機器を使ったり、
普段は家族や施設職員に任せがちな家事の

体験もできます。

また、ILP目的だけでなく、体験ルームに
設置しているリクライニングベッドを利用してみ
たい、といった方や、コロナ自粛が無くなり、
イベントが多数再開する中、ホテルのバリアフリ
ールームが足りず、困っている人への利用
提供もしました。(IL利用とは区別するため、
【 】内に記載しています)

<2024年4月～2025年3月までの利用実績>

・自立生活のための利用 3名(1回の平均利用日数3日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用人数	1	1	3	0	1	1【1】
利用日数	11	4	10	0	4	3【4】
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用人数	1	0	1	1	0	0
利用日数	6	0	3	3	0	0

4)よろず相談(なんでも電話相談)・個別相談

STEPえどがわは、障害にまつわる相談なら、
どんな相談でもまず聞きます。障害当事者ス
タッフも 介助コーディネータースタッフも 関係な
く、対応します。
多くのよろず相談は、単純な問合せも含

め、その場で終わることも多いですが、具体的
なサポートが必要ではないかと判断されたとき
は、個別に時間を取って対応をしています。そ
れは、個別ILPに発展したり、STEPの権利
擁護活動に発展したりしています。

よろず相談から個別相談(面談対応)した実績<2024年4月~2025年3月>

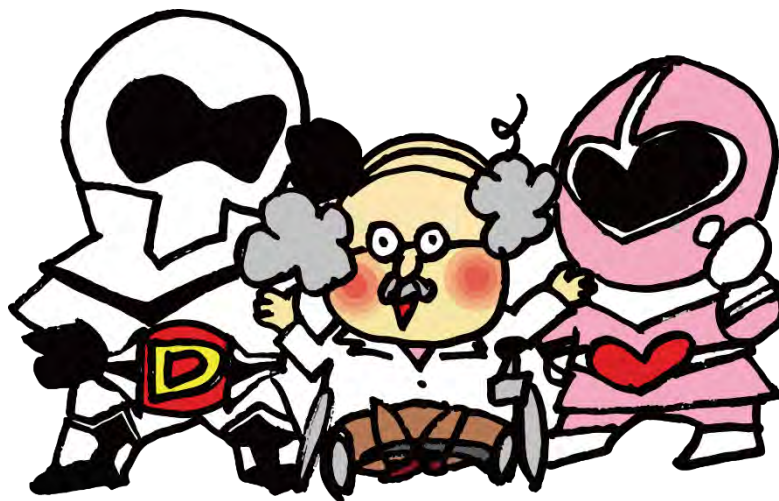
相談者	相談内容(対応回数)
女性 50代 身体	障害のある人同士で話したい(2回)
男性 30代 身体	特定疾病のため介護保険申請の通知が来たが、障害特性上、 介護保険には移行したくない(2回)
女性 20代 身体	自立したい。仕事したい。何ができるか試したい。(2回) ➡水 Do メンバーに！
男性 50代 身体	ひとり暮らしのイメージをするために体験ルームを見学したい(1回)
女性 30代 身体	生活介護の生活は物足りない。自分の世界を広げてみたい (1回) ➡水 Doメンバーに！
女性 40代 身体	自薦ヘルパーの登録について知りたい(1回)
男性 50代 身体	褥瘡が治らなくて仕事に行けなくなり将来が不安。生きる気 力がわいてこない(2回)
女性 20代 身体	東京に出て一人暮らしがしたい！(1回)
女性 20代 身体	自立について話を聞いてみたい(1回)
男性 20代 身体	施設を出て江戸川区に戻りたい(1回)
女性 20代 身体	車いすの判定が下りないことの相談(1回)
女性 20代 発達障害・身体	進路の相談(1回) ➡テイクに！
女性 20代 身体	進路(就職)の相談(1回)
女性 20代 身体	行政が重度訪問介護の支給決定をしてくれないが、どうしたらいい か(1回)
女性 20代 身体	ひとり暮らしを見据えた自薦の使い方について。

5) 自費による介助派遣

すてっぷ STEPえどがわでは、十分な支給決定がされず不足する介助時間、障害福祉サービスで認められていないけれども障害者の生活にとって必要不可欠とされる事柄に必要な介助派遣

について、自費による介助派遣を行っています。また、一人暮らしを目指して体験ルームを利用しながらヘルパー利用の体験も行う人向けに、IL用の派遣も行っています。

りよう にんずう 利用した人数	めい めい あいえるたいおう 15名(うち3名はIL対応)
はけんじかんすう 派遣時間数	じかん あいえるたいおう じかん 1338.5時間(うちIL対応は20.5時間)



とうじしゃ 6)当事者コラム

せきぐちさとし かつ じぶん かんが わす 1. 関口 悟「セッキーの 喝！！～自分で 考 えることを 忘 れるなー！」

さいきん みょう きも
最近、妙な気持ちがある。テレビなどのマスコミの
へんこうほうどう しん い ひと
偏向報道は信じると言っている人たちが、
ゆーちゅーば どうが えつくす きゅう
YouTubeなどのネット動画や X (旧 ツイッ
ター)などの SNS の情報を無批判に信じてい
るのが、僕には不思議でならない。

いくらマスコミに 偏り、間違いがあるとしても、
ネット動画や SNS で「マスコミが 隠している
しんじつ 事実」と知りましたというコメントを見るたび
に不思議な気持ちになる。

ネットの情報にも 偏りや間違いがあるのに、
それを無視してネットの情報だけを信じてしま
っているのが、僕には理解できない。

いま わか せだい しんぶん み
今の若い世代は、テレビや新聞を見ずにネ
ットでニュースを得るという。そして、彼らは
えすえぬえす じぶんごの じょうほう う け と
SNS の自分好みの情報だけを受け取って
しまいがちになる。そして、同じ 意見 を 持つ

なかも 仲間 だけつながることで、自分たちの 意見 が
たすうは おも 多数派だと思いがちになる。それは 自分たちと
は異なる 考え方を排除する動きへとつなが
りかねない。

いま こんきょ 今。根拠もないのに、ネットの 情報 によるイン
バウンド 外国人、移民、女性、高齢者、障害者、
えるじーピーていーきゅー しょうすうはだた こくみん
LGBTQ といった少数派叩きと国民の
ほしゅか 保守化が目につく。

にほん 日本だけでなく、かいがい 海外でも移民政策の失敗と
ともに、えすえぬえす えいきょう べいこく せいけん
SNS の影響で米国トランプ政権の
さいせん おうしゅう ほしゅ せいけん たいとう
再選や欧州の保守政権が台頭するなど、
せかいてき しそう ほしゅか うご と
世界的に思想の保守化の動きが止まらない。

じんるい たようせい うしな なが
人類の多様性を失わせかねない、この流れに
ぼく 僕たちは ちゅうい 注意していかなければならない。



ひっしや しゃしん
筆者の写真

けんり ようご じぎょう
②権利養護事業

ぜんこく すずね
1)全国キャラバン～鈴音 がいっく！～キリン 福祉 財団 助成 合理的 配慮 啓発 事業

<はじめに> (記:中曽根 鈴音)

2024年4月から民間も合理的配慮が義務化になったものの、世間的にまだ知られていない印象があり、そもそも「合理的配慮」という言葉も浸透していないように感じていたことと、車いすユーザーに対する配慮もですが、聴覚・視覚・知的障害の人などへの合理的配慮は特にまだ知られていない部分が大きいという風にも感じていました。そういった啓発に加えて私たちが当事者もどのように働きかけや交渉をしたらよいのか、もっと視野を広げるためにもいろんな障害種別の人や、CILのスタッフ、地域の人が集まって、ワークショップを中心にやっていこうという企画を1年かけて行いました。前半は計画づくりや各地との打ち合わせを行って、実際に回り

始めたのは9月になってからでした。翌年3月までの間で、南は沖縄から北は北海道まで23か所で勉強会を開催することができました。様々な障害種別の仲間たちと一緒に回り、地域の人たちとの交流も大事にしながら身近に感じることで合理的配慮のことを自分事として学ぶ時間にするということを中心掛けて行っていました。今回のような企画を続けながら小さな変化をたくさん起こしていく、そうすることでいずれは地域や社会が少しずつ良くなっていく、微力ながら私自身も引き続き精いっぱい活動していきたいとおもいます。

STEPのスタッフも情報保障のサポートや、啓発活動のために順番に同行してくれました。



じりつせいかつ む ちゅう いざかや
自立生活センター夢 宙の居酒屋 ぐり
らのお店。後ろの壁に大きなゴリラが
ビールを片手に持っている絵が描か
れている。その前で、鈴音キャラバンに
参加した数十名がこぶしを挙げて
記念撮影をしている。



ゴリラの絵の前でLEAD ON!と書かれた横断幕を
鈴音と今村、STEPのスタッフ2名が持っている。

<同行したスタッフの感想>

1. 山田 芽唯 ～宮崎・鹿児島・大分～

宮崎・鹿児島では、鈴音さんだけでなく発達・
視覚・重複障害といった当事者の方々が
登壇しました。それぞれの方が、それぞれの言葉
で自分の困りごとや合理的配慮について話し
てくれた後、それを聞いていた参加者(手話に
興味のある一般の方、行政の方、他の
CILの車椅子ユーザーなど)にグループワーク
をしてもらったりして感想をお聞きました。そ
の時の感想を少しご紹介します。

●手話やってみたい!って人がグループにい
て、ここでやってるよ!と手話の輪が広がりました。

●合理的配慮ってしなければならない!って押し付けられてるように感じてたけれど、もっと双方向的なものなのだと心が軽くなった。

●CILだけでなく、もっと地域のいろんな人にこそ、この話を聞いてほしい。

これって凄いことだなと思います。『合理的配慮』という出始めたばかりの、使い方が浸透してない、難しそうな言葉をテーマにした話。それがこんなふうに、周りの人たちに温かく伝わったのは、本人達の言葉だったからだなと思いました。専門家や政治家の方達にはできない、当事者の言葉だからこそ生んだ共感力だと思います。

もっともっと、いろんな^{かたがた} 方々に皆^{みな}さんの言葉^{ことば}を
聞いてほしいです。鈴音^{すずね} キャラバンはまだまだ 続^{つづ}
く…！ 乞^こうご 期待^{きたい} です！！

2. 田中 麻実 ~愛媛・山口・静岡・大阪~

今回^{こんかい} たくさんの場所^{ばしょ}に 同行^{どうこう} させていただきました、
わたし 各地^{かくち}で「STEPでの 情報^{じょうほう} 保障^{ほしょう}の 取り組^{くみ}み
について」をメインにお話^{はな}しさせていただきました。

STEPもまだまだ 完璧^{かんぺき} といえるほどの 取り
組^{くみ}みではないですが、聴覚^{ちやうかくしやうかい} 障害^{しやうがい} を持つ 鈴音^{すずね}
が STEPに 来てから、どうしたら 聞^きこえる 人^{ひと}と
同じ 情報^{じょうほう}量^{りやう} を 伝^{つた}えることができるのか、鈴音^{すずね}
自身が「困^{こま}っていること」「こうして 欲^ほしい」を 伝^{つた}
えてくれ 少^{すこ}しずつサポート 体制^{たいせい} が 整^{ととの}ってきて
いることを 伝^{つた}えさせていただきました。

各地^{かくち}では、障害^{しやうがい} 種別^{しゆべつ} 様々な 当事者^{とうじしや} がどうい
った 配慮^{はいりよ} が 必要^{ひつよう}なのか、知^しってほしいことをそ
れぞれの 立場^{たちば}でお話^{はな}していただき、私^{わたし}は 今回^{こんかい}
のキャラバンで「当事者^{とうじしや}が 伝^{つた}えることの 重要^{じゅうようせい}性^{せい}」
「知^しらなかったことを 知^しる 場^ば」「広^{ひろ}い 視野^{しや}で
興^{きやう}味^み 関^{かん}心^{しん} を 持^もつこと」「自^じ分^{ぶん}がその 時^{とき}何^{なに}が
出^で来るかを 考^{かんが}え 行^{こう}動^{どう}する 力^{ちから}」がとても 大^{たい}切^{せつ}
なのではないかと 学^{まな}ばせていただきました。

また 各地^{かくち}に 足^{あし}を 運^{はこ}ぶことでたくさんの 方^{かた}
たちとの 出^で会^あい、繋^{つな}がりも 実^{じつ}感^{かん} させていただけ
ました。なにより 各地^{かくち}の 方^{かた}々々^{がたがた}にご 当^{とう}地^ちの
名^{めい}産^{さん}品^{ひん} などたくさん 食^たべさせていただき、毎^{まい}回^{かい}
それが 楽^{たの}しみになっていたのも 正^{しょう}直^{じき} な 感^{かん}想^{そう}の
たなか 田中^{たなか} です。

3. 布川 悠 ~名古屋・沖縄~

私^{わたし} は 2月^{がつ} に 名^な古^こ屋^や キャラバン、3月^{がつ} に 沖^{おき}縄^{なわ}

キャラバンに 同^{どう}行^{こう} させていただきました。

どちらの 会^{かい}にも、CIL 関係者^{しーあいえるかんけいしや} だけではなく、
近^{きん}所^{じよ}の方^{かた}や 教^{きやう}育^{いく}に 関^{かんが}わる 方^{かた}など 立^{たち}場^ばも 様^さ々^{ざま}
で、それぞれの 経^{けい}験^{けん} から 考^{かんが}える『理^り的^{てき} 配^{はい}慮^{りよ}』に、
なるほどなあとすごく 勉^{べん}強^{きやう} になりました。人^{じん}生^{せい}の
出^で会^あいの 中^{なか}で、この 人^{ひと}のため 何^{なに}ができるかな
~なんて 考^{かんが}えるところから 理^り的^{てき} 配^{はい}慮^{りよ} って 生^う
まれるんだと 感^{かん}じました。答^{こた}えがあるものではな
いからこそ、多^{おほ}くの 人^{ひと}の 声^{こえ}を 聞^きくことができるキ
ャラバンには 大^{おほ}きな 意^い義^ぎ があつたと思^{おも}います。

また、なかなか 他^{ほか}のセンターに 遊^{あそ}びに 行^いか
せ てもら 機^き会^{かい} も 少^{すく}ないので、現^{げん}地^ちでの 空^{くう}気^き感^{かん}
も 感^{かん}じながら 交^{こう}流^{りゅう} できたことはすごく 貴^き重^{ちゆう} な
経^{けい}験^{けん} になりました。どちらも 駆^かけ 足^{あし} 滞^{たい}在^{ざい} になつ
てしまったので、また 遊^{あそ}びに 行^いきたいな~。

これからも 仲^{なか}間^ま たちと 切^{せつ}磋^さ琢^{たく} 磨^ま しつつ、柔^{じゅう}軟^{なん}
な 気^き持^もちで、た^たくさん 人^{ひと}との 出^で会^あいを楽し^{たの}
みたいと思^{おも}います。鈴音^{すずね}、お 疲^{つか}れ 様^{さま}~！

4. 岡本 莉奈 ~長崎・千葉・大阪~

キャラバンの 最^{さい}初^{しよ} と 最^{さい}後^ご、そして 生^うまれ 故^こ郷^{きやう}
千^ち葉^ば に 同^{どう}行^{こう} させていただきました！ 佐^さ世^せ保^ぼ バー
ガーの 代^かわり 某^{ぼう} ハンバ^やー ー屋^い さん に行^いっ
たり、千^ち葉^ば にあるのに 東^{とう}京^{きやう} ドイ^{むら}ツ 村^い に行^いったり、
弁^{べん}慶^{けい} さん 大^{おお}阪^{さか} 横^{おう}断^{だん} ドライ^{らい}ブ してもら ったり(
笑^{わらい})。そんなこともありつつ、どこの 場^ば所^{しよ} に 行^いっ
ても 変^か わらず 思^{おも}うことは、なにが 正^{せい}解^{かい} かではな

くても、様々な 当事者 からの 話 をきき、みんなで
顔 を 見合 わせて 考 えること、この 過程 こそが
大切 なのだということです。そのキャラバンを
一緒 にしたみなさんでその 大切 さ 伝 えていき
たいと思 います。様々 にご 協 力 してくださった
方、本 当 にあ げ げ とうござい ました。 楽 しかった
です！ 次 のタイトルは、すずね GO！NEXT！か
なあ？

5. 大瀧 涼子 ～茨城～

会場 はつくば市役所に併設されている場所
。こちらの最寄 駅 はつくばエクスプレス「研究
学園 駅」です。2005年開通と新しい駅。広く
フラットな建物や空き地も多くこれからの街
づくりに期待できそうだと感じました。

つくばで登壇されたのは鈴音 ちゃんのほかに、
はちおうじちょうかくしかくしょうがいしゃ
伊藤 薫 さん。視覚 障害 の方です。参加者 は
CIL 関係 の人だけでなく、市役所 職員、
議員 さん、当事者 の方、当事者 家族 の方など
様々な参加者 で会場 がいっぱい。

当日 印象 に残 ったことは、グループワーク 内

で出 た 鈴音 ちゃんの「口話」についてです。

同じグループになった 女性 議員 さんが「口話
ができるとコミュニケーションが 取 れていいです
ね」(正しく 覚 えているわけではなく、こんな 話 で
した(;^ω^))と 話 が出 ました。

私 も 鈴音 ちゃんを 知 らなかったらおそらくそ
う 思 っていました。でも、口話 はとても 疲 れるこ
と。技術 を 取得 するための 大 きな 負 担。それら
を 聞 いていた 私 は「それは 相手 に 一 方 的 に
努力 を 求 めているのではないのでしょうか？」と
話 をしました。同じグループにいた 当事者 男性
も「合理的 配慮 があれば、そういった 一 方 的 な
努力 を 強 いらなくてもいいということですよね」
といった 話 が。女性 議員 さんもハツとした様子。

その後も 話 は盛 り上 がり、つくばの参加者
たちは合理的 配慮 について 真 摯 に 考 えている
のだなと 思 え、やはりこれからの街 として 期 待
ができる 感 じました。

瑞江 も負 けてられないなあ。と、いい刺 激 にな
った「鈴音 がいく！合理的 配慮 キャラバン in つく
ば」でした。

2) 重度 訪問 介護 利用者の権利 擁護

1. 介助 が必要 な 重度 障害者 だって 当 たり 前 に 就 労 したい(記: 工藤 登志子)

重度 訪問 介護 等、訪問 系 の福祉 サービスは、
厚生 労働 省 告示 523号 によって 就 労 ・修 学

・政治 活動 等 の 外 出 に 対 して 利用 が 制 限 さ
れており、介助 が必要 な 重度 障害者 が 就 労

する際の足かせになっています。理解のある雇用主であれば、職場に介助者を用意してくれたり同じ職場の従業員が手伝ってくれることもあるかと思えます。しかし、雇用側の事業規模によっては介助者を雇う人件費を賄うことが難しい、他の従業員が本来の業務の合間に手伝ってもらうことでお互いの負担になってしまう等現実的ではなく、よっぽどラッキーなケースでないと重度障害者が職場介助を付けながら就労するということは難しい状況でした。そうした状況を打開しようと障害当事者をはじめとする人々が声を上げ続けており、現在はまだまだ数は少ないものの、いくつかの自治体で就労支援事業が誕生しています。江戸川区でも令和5年より江戸川区重度障害者等就労支援事業がスタートし、就労中の介助利用が公的に認められるようになりました。

江戸川区の場合は、以下の要件をすべて満たしている江戸川区民が対象となっています。

1. 重度訪問介護、同行援護、行動援護のいずれかの支給決定を受けている方。
2. 民間企業に雇用されている、または自営業を営んでおり(個人事業の開業とどけでおこなった方または法人の代表者等)、就労の継続のために本事業の必要性が見込まれること。
3. 1週間の所定労働時間が10時間以上であること。ただし、民間企業に雇用されてい

る方で、1週間の所定労働時間が10時間未満であっても、当該年度末までに当該企業が10時間以上に目指すことができる方を含む。

私自身もこの要件に当てはまるため、利用してみることにしました。申請から利用までの流れをざっくり書くと、①区の身体障害者相談係へ連絡、②必要書類提出・申請、③支給決定、④介助派遣事業所と契約・利用開始という感じですが、私の場合は①～④までに約半年かかりました。というのも、この制度は、民間企業に勤める場合、企業(雇用主)がどくりつぎょうせいほうじんこうれいしょうがいきゅうしよくしゃこようしえん機構(JEED)の「障害者雇用納付金制度に基づく助成金」を活用して業務上必要な支援を行うことが前提となり、JEEDと江戸川区それぞれに提出書類を準備しなければならないなど、非常に手続きが煩雑で難しく感じました。また、無事に支給決定がおりたとしても、介助を引き受けてくれる事業所は自分で探さなければなりません。障害者総合支援法のサービスに比べて報酬単価が低いことから、なかなか受けてくれる事業所が見つからないといった課題もあります。

また、朝起きてから出勤準備までは重度訪問介護、出勤して勤務している間は就労支援事業、退勤後はまた重度訪問介護…というように、別々のサービスと使い分けながら

生活することのやりにくさも感じました。サービスごとにヘルパーや事業所が入れ替わることもあり得るため、急な事情で仕事を休むことになった時や残業・早退等で予定が変わった場合に対応が難しいことも考えられます。

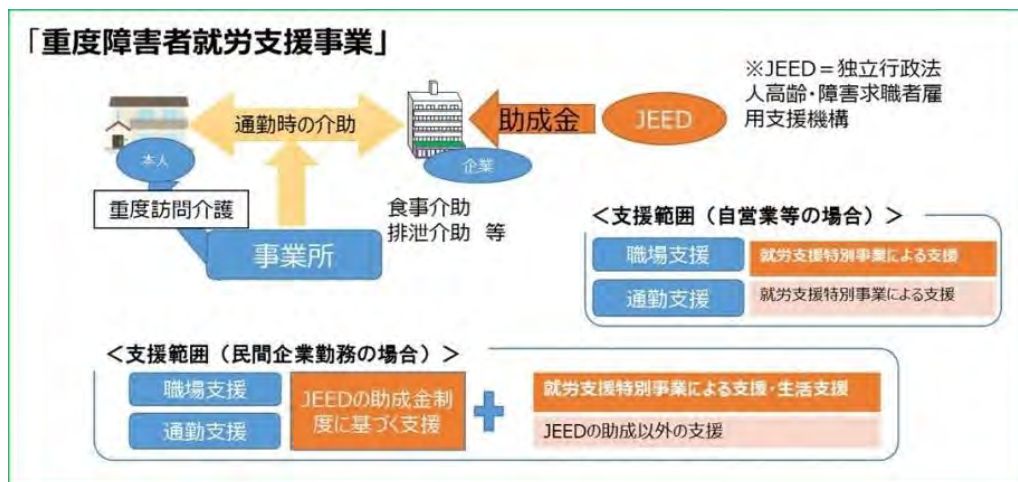
とはいえ、様々な課題はありつつも重度障害者が就労中も介助を受けられるようになってきた動きは大変喜ばしいことであり、

歓迎すべき取り組みだと思えます。今後、残された課題をクリアしながら全国どこで暮らしていても同様のサービスが受けられるように普及していった欲しいと願っています。そして、これまで介助が必要なことを理由に就労を諦めていた方々もやりたいことを諦めることなく活躍できる社会にしてけるよう、引き続き取り組んでいきたいと思えます。



令和インタビュー：厚生労働省 告示523号
の撤廃を求めて今村理事長がれいわ
新選組のインタビューを受けている様子。

※江戸川区公式サイト「江戸川区重度障害者等就労支援事業」ページより抜粋



<https://www.city.edogawa.tokyo.jp/e041/kenko/fukushikaigo/shogaisha/service/fukushi/syuroshien.html>

就労支援事業：江戸川区重度障害者等就労支援事業の内容。江戸川区公式サイト「

江戸川区重度障害者等就労支援事業」ページより抜粋

2. 介護保険 移行問題と医ケアのない障害者の時間数交渉の課題 (記: 蛭川 涼子)

2023年度の年次報告で、65歳を迎えたSさんが、介護保険を申請しないという選択をした、という報告をしました。さて、その後Sさんがどうなったか…。その後も介護保険の利用をせまられるということもなく、重度訪問介護のみで生活を継続できています。

その後、特定疾病に該当するということで40歳を目前にしたAさんに、介護保険への移行連絡が来て、生活が一変してしまうのではないかと不安に陥っていたAさんからSOSが入りました。Aさんの担当の相談支援専門員と介護保険に移行した場合の変わること、変わらないこと、を確認し、相談員に不安の中身を理解してもらった結果、不安が解消されるまでは、介護保険には移行しないという選択をすることができました。

これは、Sさんの介護保険は選択しない、という行動が影響しているのではないかと思います。

Sさんの話に戻ります。Sさんは65歳になった後も、重度訪問介護のみで生活ができていましたが、Sさんにとってはそもそも時間数が足りません。体力が低下し、自分で寝返りが打てなくなったSさんは、日中だけでなく夜間介助の必要性を訴えていましたので、2024年度は増量申請をしました。結果は日中の介助時間が微増しましたが夜間の介護は認められません。Sさんは、希望する時間数が獲得できたら介護保険への移行の検討も始めても良いと思っていました

が、希望する時間数が獲得できていないので、移行の検討よりも時間数を獲得するためにはどうしたらよいかの行動を続けました。

数か月後、同じく夜間の介護の必要性が認められず、毎年増量申請するも獲得できなかったIさんと一緒に、区長への手紙を出した結果、区との話し合いの場が設けられました。区としては重度訪問介護のみの増量はできないが、生活介護等、日中活動を利用するならば、個人の努力として認めて増量も検討したいという話がありました。

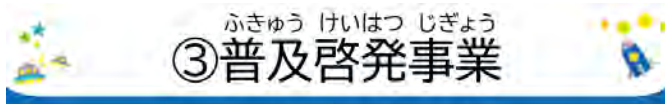
この回答を皆さんはどう思われるでしょうか？

SさんとIさんは、最大限生活介護を使うという、区の提案に歩み寄ることを選択しました。生活介護を使うと、やりたいことを尊重してくれる生活介護だったりしても、やはり日中の自由が奪われます。

江戸川区に限らず、重度訪問介護の支給決定は年々渋い結果しかでないという自治体が多くなっているという話も聞きます。

時間数が欲しい、ではなく、自分に必要な時間数をどう行政に伝えられるか。

自立生活を継続するために、どのサービスを使っていくか、重度訪問介護だけに頼らない生活は、その人らしい生活を奪わないでいられるのか、これからも考えていくのが自立生活センターの使命なのかなあ…と思う次第です(とりあえず、これで終わり。来年には続きません)。



1)STEPの防災に関する取り組み(記:市川 裕美)

昨年まで大規模水害に関する取り組みに力を入れてきたSTEPですが、今年度は能登地震の事もあり、基本に戻って震災時の取り組みに力を入れる事としました。

まずは5年ほど前から作成を進めていた「災害時個別支援計画」の見直しを検討しました。

今まで紙に記載したものを提出いただいて事務所で保管する事としていましたが、5年も経過すると様々な状況が変わっている方も多く、数年ごとに書き換えるのもお互いに負担になる事、また、古い情報ではいざ災害が発生した時に的確な支援が出来なくなる事、保管している事務所が被災して情報の確認が出来なくなる可能性がある事などから、データ保存して変更は各自で随時可能になる方法に切り替えました。また、介助者の方にも改めて災害時の稼働状況を確認するアンケートを行ないました。

これらの情報を基に10月に「災害対策本部立ち上げ訓練(試)」大地震が発生した想定でシフトの調整などの訓練を内々で実施しました。

そして1月21日、午前10時、震度6の首都直下型地震が発生した想定で、利用者さん・介助者さんも巻き込んで「安否確認」や「災害伝言ダイヤル」を試してみたり、事務所ではライ

フラインが全て不能という事で室内の電気や暖房を消し、トイレも断水のため非常用トイレを試してみたり、非常食で炊き出し(ポリ袋でご飯を炊く)などの訓練を実施しました。実際に訓練してみた感想と気づきは以下のようなものです。

・「災害伝言ダイヤル」の事は知っていたけれど実際に試したのは初めてで試せて良かった

・昼間でも電気がないのは暗く感じた。→手元のライトなども用意しておいた方がよい

・寒さ対策が出来ていない。→使い捨てカイロを備品に追加 各自ひざ掛けなどを用意

・長年備品として保管していたアルミシート(ブランケット)が臭かった!!

・サーバーがダウンしていない 想定でシフト調整などを行っていたが、実際にはパソコン頼りのシフト調整、安否確認等が可能なのか?代替え手段を検討

・非常食は思いの外おいしく食べられた。温かくて良かった

・非常用トイレは本来1枚の袋に薬剤を入れて数回利用するが、不特定多数が使用するの1回ずつ処分するよう小さめの袋を用意する事とした

さいがいたいさくほんぶ なに だれ
・災害対策本部として 何をすべきか、誰もが
はあく こと むずか さいがい はっせい
把握しておく事は難しいが、災害が発生し
た時にマニュアルを読み返している場合で
はない→「災害時アクションカード」という行動
1つを1枚のカードに記載したものの作成を
けんとう こと じねんど けんとうかだい
検討する事に(次年度の検討課題)
じねんど さら と く さいがい
次年度は更なる取り組みとして、災害をより
じぶんごと としてとらえられるように、大地震の被災

とうじしゃ かた はなし き きかい もう こと
当事者の方のお話を聞く機会を設ける事
(7月)、被災体験として「東京そなえりあ」へ行
く(8月19日)などを検討しています。その上
で、前述の「災害時アクションカード」の作成を
おこなっていき予定です。また、大規模水害時に
ついでの検討もさらに進め、集団広域避難先
の確保に向けて少しずつ行動していこうと考
えています。

じ む し ょ な い ひ な ん く ん れ ん 事務所内避難訓練をとおして

その1 (記:大瀧 涼子)

がつ にちふゆ は ひ じ む し ょ な い ひ な ん く ん れ ん おこな じっさい さいがい お
1月21日冬の晴れた日に事務所内で避難訓練を行いました。実際に災害が起きたときの
うご かくにん
動きの確認のためです。

じ む し ょ ていでん お そうてい でんき つか かたち おこな
事務所では停電が起きたことを想定して、電気は使わないという形で行われていました。

とうじつ とちゅう かいじょ で わたし おこな かくにん ひる
当日は(途中で 介助に出ってしまったので 私はすべて行わなかったのですが)、シフトの確認、お昼
には防災食の試食、トイレでは水を流せない想定の防災トイレなどです。

は ひ にちゅう まふゆ だんぼう じ む し ょ な い ほんとう さむ み きけん かん
晴れた日の日中とはいえ、真冬。暖房もない事務所内は本当に寒く、ヤバイ！身の危険を感じるほど。
そこで防寒シート(銀色などの寒さ対策のシート)を備蓄品から出し、使ったところ・・・めちゃくちゃ臭
い！！カビ臭がします。寒い、臭い、寒い、臭い・・・。

き を と り 直 ちゅうしょく じゅんぴ ゆ わ ぼうさいじ こめ た かた ぼうさいしょく せんたく
気を取り直して昼食の準備。お湯を沸かして、防災時のお米の炊き方、防災食のおかずの選択。ど
のような食品か確認をしようとしたところ、字が・・・見えない！薄暗い室内で細かい文字が読めな
い！！！！という衝撃。

くんれん とお おも かなら ひなんくんれん さんが ほう
訓練を通して思ったことは「必ず避難訓練に参加した方がいい！！！」ということ。

ふゆ じ む し ょ な い だんぼう さむ おも ぼうさいよう れっか おも
冬の事務所内(暖房がないと)があんなに寒いと思わなかった。防災用のシートが劣化するとは思わな
かった。薄暗い室内で字が読めないなんて思わなかった。わずかな時間で様々な気づきを得ました。

こんご ふゆば も ある じ む し ょ びちく かんしゃ ぼうさい ていきてき
今後、冬場はホッカイロ持ち歩こう(事務所でも備蓄してくれるそうです。感謝！)。防災シートは定期的

かくにん つ も
に確認をしよう。ライトの付くモバイルバッテリーを持ちあるこう、です。

みな ひなんくんれん けいけん おもしろ はっけん おも
皆さんもぜひいろいろな避難訓練を経験してみてください！面白い発見がたくさんあると思います。



じむしょ いちかわ どうじしゃ くどう ひざ
事務所で市川が当事者スタッフの工藤の膝にアルミの
ぼうかん
防寒シートをかけている。

その2 (記:和田政宏)

ぼうさい ことば かんが き おも かた おお ぼく
「防災」という言葉を考えると気が重くなる…という方、多いのではないのでしょうか？もちろん僕もその一人です。生命にかかわる深刻な事態なんて考えたくもないですね。

しかしそんな状況だからこそ、少しでも明るい気持ちを持つことが必要だと思います。

たとえば食事。避難で暗い気持ちの時、暖かくておいしいものが食べられたら、きっと気持ちが落ち着くことと思います。

2025年1月21日、STEPの事務所にて防災対策の一環として、炊飯器を使わない、簡易的な飯盒炊爨のようなもの？を体験しました。

カセットコンロで鍋に湯を沸かし、ビニール袋にコメと水を入れて湯煎で米を炊くというもの。

こんなに手軽に炊飯ができるのかと出来上がりに若干の不安がありましたが、心配は無用でした。

ついでに鍋に入れて温めていた缶詰をおかずにおいしくいただくことができました。改めてインターネットで検索してみると、「ポリ袋ご飯」なるものがいくつも紹介されています。

鍋に直接ビニール袋を入れると溶けてしまうので耐熱皿を鍋底に敷く、米と水を30分ほどおいてから炊き始めるとおいしくなる等々、様々な工夫が凝らしてあります。

これを被災時に食べられたら、と想像するととても心強いです。一方で食料や燃料などのローリン

グストックを最後に確認したのはいつだったか…と改めて気づかされました。

定期的に意識を改めることで、緩んだネジを巻きなおすのが大切です。

いつか来るかもしれない苦しい時、下を向いてしまう時のために、前を向く準備を今のうちからしておこうと思います。



机の上に大型鍋や缶詰めがある。その周りで5名のスタッフたちが鍋で炊いたお米をほおばる。

2) 地域へのアプローチ

1. ダンサナクセイバー活動報告(漫画・バリ演)(記:井家上 裕)

2025年2月22・23日、バリアフリー演劇鑑賞会を開催しました。開催に向けてクラウドファンディングも行いました。ご協力いただいた方々に厚く御礼申し上げます。

ダンサナクセイバーは劇団「風」さんのバリアフリー演劇の前座として今回も出演させていただきました。観客の皆様が安心して自由に楽しめる空間を作り出す劇団「風」さんの演劇を参考に、ステージ上だけでなく会場全体を巻き込むシナリオにしたところ大盛り上がり！前座の役割を無事果たす事が出来ました。劇団の方々や観客の皆様にも沢山褒めていただけたのが嬉し

かったです。



ステージの上にダンサナクセイバーと手話通訳者が並んでいる。左から全身黒タイツを着

たバリバリアン、^{はくい き ちや みずえはかせ ふか}白衣を着たお茶の瑞江博士、深
^{みどりいろ}い緑色のシャツを着た手話通訳者、^{き しゅわつうやくしゃ ぜんしん}全身ピンク
^きタイツを着たナクセイバーピンク、^{ぜんしんしろ}全身白タイツ
^きを着たナクセイバームジ。

そして！

^{たいぼう}待望のダンサナクセイバーの漫画本が出来まし
た！「^{せんたい}バリアフリー戦隊^{じょうほう}ダンサナクセイバー(情報
^{ほしょうへん}保障編)」

すごい！なんてすごい漫画が完成してしまった
んだ！

この^{まんが}漫画は^{ねん}2024年^{がつ}2月のバリアフリー^{えんげき}演劇で
^{おこな}行った^{ぜんざ}前座のナクセイバーショー(情報保障編)

のシナリオが基になっております。一度は読んでい
ただきたい！あなたの人生を変える一冊！

※この漫画の売り上げはインクルーシブな社会を
^{めざ}目指す^{ため}為の活動に使われます！

^{きょうみ}ご興味がある方は是非STEPえどがわまでお問
^あい合わせ^{くだ}下さい！



ダンサナクセイバー漫画の表紙。タイトルは、バ
リアフリー戦隊ダンサナクセイバー。原作は
STEPえどがわ。漫画作成者は、つぐみっこ。ダン
サナクセイバーのムジとピンク、博士のイラスト
が中央に書いてある。左下に鈴音のキャラク
ターがいて、情報保障編と書いてある。

2. 学生へのアプローチ(大学講義)(記:中曽根知明)

^{すてっぷ}STEPえどがわでは、^{まいとし}毎年、^{しょうがいとうじしゃ}障害当事者である
わたしたちが、^{しょうがくせい}小学生から^{だいがくせい}大学生の皆さんに向け
て^{じゅぎょう}授業を^{おこな}行っています。中でも^{なか}大学生向けの
^{きかい}機会が多く、^{おお}私自身も^{わたしじしん}2024年度は、^{ねんど}医療系
^{がくぶ}学部で^{まな}学ぶ^{ねんせい}1年生(理学療法士や作業療法士を
^{めざ}目指す^{がくせい}学生さんたち)に^{ふくすうかいこうぎ}複数回講義をしました。

^{わたし}私が^{けいずいそんしょう}「頸髄損傷ですが、どのような障^{しょうがい}害があ

ると思いますか？」と聞いかけると、皆さんはまだ
学び始めということもあり、^{すこ}少し^{こんわく}困惑した^{ひょうじょう}表情
がとても初々しく印象的でした。

^{じゅぎょう}授業では、^{いらい}依頼いただいた^{くわ}テーマに加え、
「^{じりつせいかつ}自立生活センターってなんだろう？」ということ
から、^{わたし}私が^{じゅしょう}受傷してから^{じりつせいかつ}自立生活センターに
であ^{みち}出会うまでの^{げんざい}道のり、そして現在、どのような

かいじょ サービスを利用して地域で生活しているのか
を、当時の写真も交えながら詳しくお話しします。

とくに重視しているのは、施設ではなく住み慣れた地域で、自分らしく暮らす障害当事者のリアルな生活を知ってもらうことです。これにより、将来皆さんが医療現場で働く際に、より実践的な視点を持ってもらいたいと願っています。



しろのケーシーを着た学生約20名の前で車椅子ユーザーの利用者とそのヘルパー、STEPスタッフが発表をしている。

また、授業の中では、障害者が地域で生活する上でヘルパーさんの存在がいかに重要であることを伝え、授業の最後にはヘルパーのアルバイト募集の案内もさせていただいています。現在も、看護学生や理学療法・作業療法を学ぶ学生さんたちが、アルバイトとして私たちの自立生活を力強く支えてくれています。



がっこうの駐車場。中曽根が、自分の車の助手席のドアを開けて説明している。車の周りで数人の学生と先生が話を聞いている。

3. チャレンジ・ザ・ドリーム(職場体験)

その1 (記:井家上 智子)

えどがわくない ぜんちゅうがっこう ねんせい たいしょう
江戸川区内の全中学校の2年生を対象として実施されている職場体験「チャレンジ・ザ・ドリーム」で、2024年度は1月23日(木)から1月29日(水)の土日挟んで5日間、瑞江三中の生徒さん4名が来られました。

さくねん しょくばたいけん がくせい どうじしゃ
昨年職場体験の学生と当事者スタッフとの
かわりも しょうしやたく けんがく どうじしゃ
関わりが持てるよう、利用者宅の見学は当事者スタッフの自宅で行い、普段介助者を利用しているときと同様、食材を買いに行き、自宅にて利用者からの指示を受けながらの調理体験も行いました。
すてっぷ おこな しょうとうもんかいご
STEPえどがわで行っている「重度訪問介護

じゅうぎょうしゃようせいけんしゅう ないよう いちぶ
「従業員養成研修」内容の一部、ボディメカニク
スや着替えの介助方法、車いす操作方法やガイ
ドヘルプの体験もしてもらい、STEPえどがわの
特徴である「自立生活とは？」「情報保障とは？」
「インクルーシブとは？」等について当事者スタッフ
から説明。難しい内容もあったかと思いますが、
とても真剣に聞いておりました！



りようしやく
利用者宅のキッチンで中学生2人がじゃがいもの皮をむいている。

がつ おこな
2月に行われた「バリアフリー演劇鑑賞会」の
じゅんび てつだい
準備もお手伝いいただき、案内表示のポスターや、
ダンサナクセイバーの応援グッズも制作してくれ、
どれも素敵なものが完成し演劇鑑賞会場に
かた
方たちからも「かわいい」「すてき」と言ってもらえ
ました！

じゅうなんせい ねんれい
柔軟性のある年齢だからこそ、ありのままを
う と
受け止めて、たくさんのことに関心を持ってくれた
みずえだいさんちゅうがっこう せいと みじか きかん
瑞江第三中学校の生徒さん。短い期間でも
すてっぷ
STEPえどがわで過ごした職場体験が将来の

しごと かかわ うえ やくだ こと さいわ
仕事に関わる上で役立つ事となれば幸いです。
いつかかんほんとう つか さま
5日間本当にお疲れ様でした。

その2 (記:井家上 裕)

みずえだいさんちゅうがっこう めい せいと
瑞江第三中学校から4名の生徒がチャレンジ
ザドリーム(職場体験)でSTEPえどがわに来まし
た。障害を持つ当事者との関わりの中で感じる
こと おお
事も多かったようで、しっかりと障害当事者の
はなし き なにごと せっきよくてき と く
話を聞き、何事にも積極的に取り組んでくれま
した。

せいと くるまいす あ だんさ の こ
生徒が車椅子のキャスター上げ(段差を乗り越え
る)練習をしている時、丁度、学校の先生が生徒
の様子を見に来ました。

いま おし とお せんせい くだ
「今、教えた通りに先生やってみて下さい」なん
て無茶振りをしてみたらノリの良い先生で生徒と
いっしょ
一緒にキャスター上げをマスターしていきました。
こうやって地域で繋がれる機会があるのもなん
だか良いなあ、と感じる出来事でした。

よう きかい だいじ
このような機会を大事にしていきたいです。



ちゅうがくせい こうえんない くるま お ある
中学生2人が公園内を車いすを押して歩い
ている後ろ姿

4. 江戸川さんしょうがいフォーラム (記: 蛭川涼子)

2024年度もSTEPえどがわは、江戸川さんしょうがいフォーラムのメンバーとして、定例会への参加、イベントを通して江戸川区内のつながりを楽しめました。

◆2024年5月17日(金)

「第2回多様な性にYesの日カウントダウン2024」

船堀スポーツ公園から船堀駅北口までパレードしたあと、船堀駅前広場でのステージにナクセイバーが出演、マルシェ(出店)では、「一夜限りの手話とホットドック!」と題して、手話を使ってホットドックを買ってもらうお店を出しました!



パレードの先頭の人が、レインボーの生地に「さんしょうがいフォーラム」と書かれた横断幕を持っている。その後ろをレインボーの旗をもった人たちが行進している。



STEPのスタッフ数人がイベント TENT や机にチラシを貼って準備をしている。



ダンスナクセイバーのショーをしている。左から全身白いタイツの「ムジ」、鈴音、手話通訳、車椅子に乗っている「お茶の瑞江博士」、全身ピンクタイツの「ピンク」が並んでいる。



いちやかぎ しゅわ ぶん いぬ
一夜限りの手話っ とホットドッグという文や犬
とダンサナクセイバーのキャラクターの写^{しゃしん}真が
貼^はられている看板。



ひ く ちゅう ない はんばい
日が暮れた 中、テント内でホットドッグを販売
している^{すてっぶ}STEPスタッフたち。



た いまむら すてっぶ
ホットドッグを^た食べようとしている今村をSTEP
の^みスタッフが^み見ている。



ふなぼり まえ
ライトアップされた船堀^{ふなぼり}タワーの前でダンサナ
クセイバーと^{すてっぶ}STEPのスタッフで^{きねん}記念^{さつえい}撮影。



ごうかい た ちゃ みずえ
ホットドッグを豪快に^{ごうかい}食べているお茶の瑞江
^{はかせ}博士^{つちや}こと、土屋。

<うれしい効果>

さんしょうがいフォーラムにはこれまで、聴覚障害のある会員がいなかったため、情報保障の環境が整っているとはいえませんでした。5/17のマルシェでのSTEPの活動に江戸川区ろう者協会の方々が関心を持ってくださり、さんしょうがいフォーラムに入会して下さることになり、以後、定例会には手話通訳者が必ずつくという嬉しい変化がありました！

◆2025年2月7日(金)

令和6年度さんしょうがいフォーラム勉強会
「アドラー心理学から学ぶ 幸せに生きるコミュニケーション」講師 児島史篤氏

アドラー心理学は、勇気づけの心理学、対人関係の心理学ということで、人は他者との関係の中で自己肯定感をどう獲得して幸せに生きていくか？というお話は、ピア・カウンセリングで伝えていることにも通じるものがあるなあと思いつつ、児島さんの話自体が聞いている人を元気にさせる勉強会でした。

STEPえどがわは、情報保障(文字通訳)の協力もしました。児島さんは、発達障害当事者でもあって、とても話上手で、かつ早口で有名(笑)な人ですが、必死でついていくテイクメンバーの努力に気づいていただいたようで、途中からテイクへの配慮(少しゆっくりめに話す)をしていただけました！(笑)



かいじょう いぐち は べんきょうかい
会場の入り口に貼ってある勉強会のチラシ。



じゅうすうにん ちょうこうしや まえ とうだん こじま
十数人の聴講者の前で登壇している児島さん。右には文字通訳のスクリーン。

えどがわくとかべつしえんがっきゅうがっこうしんろ
5. 江戸川区特別支援学級・学校進路フェア(記:原嶋健太郎)



はなし ひるかわ よこ
ステージで話をしている蛭川。ステージ横には
せっち
スロープが設置されている。

れいわ ねん がつこのか ふなほり だい
令和7年3月9日、タワーホール船堀にて第2
かい えどがわくとかべつしえんがっきゅう がっこうしんろ
回「江戸川区特別支援学級・学校進路フェア」が
かいさい えどがわくない
開催されました。このフェアは、江戸川区内の
しょうちゅうがっこう せっち とくべつしえんがっきゅう きょうしつ
小中学校に設置された特別支援学級・教室
ざいせき じどうせいと ほごしゃ とくべつしえん
に在籍する児童生徒およびその保護者、特別支援
がっこうこうとうぶ ざいせき せいと ほごしゃ
学校高等部に在籍する生徒およびその保護者、
みしゅうがくじ しゅうがく なや も ほごしゃ
未就学児の就学について悩みを持つ保護者、
きょうしよくいん かんけいだんたいしよくいん たいしやう
教職員、関係団体職員などを対象としてい
しゅさい えどがわくしほね にちたいけんがた
ます。主催の江戸川区鹿骨で、365日体験型子
しよくどう うんえい
ども食堂を運営する「らいおんはーと」さんにお
さそ さくねんど ひ つづ ことし しゅってん
誘いいただき、昨年度に引き続き今年も出展し
ました。

すてっぷ しゅってん ひるかわ くだう さくせい
STEPは出展ブースに蛭川・工藤が作成してく
けいじ どうだん だいひやうしや かつどう
れたポスターを掲示、登壇タイムに代表者が活動
しょうかい さくねん どうだん だんさ
紹介などをしました。昨年は登壇ステージに段差

くるまいす あ ふ
があり車椅子では上がることができず、それを踏
こんねんど じぜん こうしやう おこな
まえて今年度は事前に交渉を行い、スロープを
ようい
用意していただいたおかげで、ステージ上にて話
ひるかわ み
す蛭川を見ることができました。



せつえい いけがみ とも はらしま
ブースの設営をしている井家上(智)、原嶋。
こうほう けいじ
ブースの後方にはポスターが掲示。

えどがわく とくべつしえんがっこう
このフェアでは、江戸川区の特別支援学校や
つうしんせい がっこう さまざま だんたい かつどう し
通信制の学校、様々な団体の活動を知ることが
こうりゅう ば ひじやう ゆういぎ
でき、交流の場としても非常に有意義なものとな
さくねんど どうじしや こ おやご
りました。昨年度はあまり当事者のお子さんや親御
はな きかい すく こんかい
さんと話す機会が少なかったのですが、今回は
せっきよくてき こえ きやうみ も
積極的に声かけをして、興味を持ってブースを
のぞ かたがた かか
覗いてくれた方々と関わるすることができました。
らいねんど かいさいよてい わたし
来年度も開催予定ということで、私たちも
くうきかん つか き じかい よ
空気感が掴めて来ているので次回はさらにより良
いものにしていきたいと考えています。

6. 地域生活支援拠点等の体制整備始動！(記: 蛭川涼子)

えどがわく ちいきせいかつしえんきよてんとう せいび む
江戸川区でも地域生活支援拠点等の整備に向
けた議論が始まりました！
かんじ じろん はし
漢字だらけで、いったい何のこっちゃ、と 全 頭
は い ひと おも くしょう
に入らない人だらけかと思いますが(苦笑)
ねんど えどがわく めざ はじ うご
2024年度から江戸川区が目指し始めた動きなの
で、ぜひご注 目ください。

◆ちいきせいかつ しえんきよてんとう りやく きよてんとう
◆地域生活の支援拠点等、略して「拠点等」
は なん きよてん せつめい
果たして何の「拠点」なのか…？説明をしてみ
たいと思います。
きよてんとう しょうがい ひと す な
拠点等、それは、障 害のある人が住み慣れた
ちいき あんしん く ひつよう しえん てい
地域で安心して暮らせるように、必要な支援を提
きょう きよてん ひとびと
供する拠点(や人々)です。

しょうがい ひと す な ちいき あんしん
まず、「障 害のある人が住み慣れた地域で安心
く
して暮らす」というのは、
じゅうどか く
・重度化しても暮らせる
おや な あと く
・親亡き後も暮らせる
にゅうしょにゆういん ひと じもと もど く
・入 所 入 院している人も地元に戻って暮らせる
ちいきいこう
(地域移行)
ということを指しています。

じつげん
これを実現するために、
いりようてき きょうどうこうどうしょうがい しょうがいしゃ
・医療的ケアや強度行動障 害のある障 害者に
たいおう ひと
対応できる人
・(ももとは自立していても加齢により障 害が
じゅうどか こうれいしょうがいしゃ たいおう ひと
重度化した)高齢障 害者に対応できる人
つまり、スキルや経験のあるヘルパー増やしたり、

しょうがいしゃ いちじてき う い ばしょ
こうした障 害者を一時的に受け入れられる場所
かくほ
も確保していきたい。

ひと しえんしゃ ばしょ ふ
こうした人(ヘルパーや支援者)や場所が増えてい
くと…？

おやもと じりつ しょうがいしゃ ふ
・親元から自立する障 害者を増やせる！
しょうがいしゃ かいご にな おや びょうき
・障 害者の介護を担ってきた親が病気になった
かいご とき たいおう
り、介護ができなくなった時にも対応できる！
たいいんたいしょ きぼう しょうがいしゃ ちいき もど
・退院退所を希望する障 害者を地域に戻ってき
てもらえる！
ちいき じつげん
という地域が実現できるかもしれない…！！

いちれん なが しえん にな きよてんとう
この一連の流れの支援を担うのが「拠点等」です。

きよてんとう ちいき つく せいび
拠点等は、地域で作って(整備して)いきます。
ちいき じつじょう ちいき さまざま きよてんとう
地域の実 情は地域ごとに様々なので、拠点等の
あ かた いっ しょ たきのうきよてんせいびがた
在り方は、一か所(多機能拠点整備型)でもいいし、
ふくさう しょ めんてきせいびがた く こうせい
複数か所(面的整備型)でもいいと、国(厚生
ろうどうしょう しめ えどがわく めんてきせいびがた
労働省)は示していて、江戸川区は、面的整備型
めざ
を目指すことになりました。

◆めざ 目指すといってもどこからどのように…？

きよてんとう ねんど えどがわく
拠点等のイメージは、2024年度の江戸川区
じりつしえんきよぎかい せっち ちいきせいかつしえんきよてん
自立支援協議会に設置された地域生活支援拠点
とうぶかい なか きょうぎかいいいん くわ くない かくしゅ
等部会の中で、協議会委員に加えて、区内の各種
れんらくかい だいひようしゃ くわ ぎろん かさ
連絡会の代表者なども加わり、議論が重ねられ
ました。

だれ かか
・誰がどのように関わるのか

きんきゅうじ たいおう たいけん ちいきこう
・緊急時の対応や体験(地域移行)はどのように
すす 進められるのか

たと しんたいちてき なかま きんきゅうじ たいおう
例えば、身体知的の仲間の緊急時の対応は
げんざい しえん くやくしょ たいおう
現在も、支援ハウスや区役所が対応していますが、
それをちいき にな
それを地域で担うとはどういうことなのか。
えどがわく しゃかいしげん さいだいげんかつよう
江戸川区の社会資源を最大限活用してどのよう
なことができるのか、イメージがある人ない人、ば
らばらな状態から少しずつ課題を整理する作業
をかい わた ぶかい つう おこな ねんど
を7回に渡る部会を通じて行った2024年度で
した。

とうしょ ねん がつ
当初は、2025年4月にスタートすることを
もくひよう していました。ぎろん かせ なか ねん
目標にしていたが、議論を重ねる中で、1年
では難しいとなり、はんとしおく ねん
では難しいとなり、半年遅らせて2025年の7
がつ かいし め ざ えどがわく ちいき
月の開始を目指すことに。また、江戸川区は地域も
ひろ いたため、エリアをわ けて、まずはかさい
葛西エリアをモ
デルちいき 地域としてスタートして、だんかいてき ほか
段階的に他のエリア
でもてんかい 展開するというほうこう 方向で、2024年度はねんど お
終わりました。

ました。

げんこう か だんかい ねん がつ
この原稿を書いている段階(2025年5月)で
は、まだ、きよてん にな しえん なが
拠点(フロー)や、拠点
とう とうろくてつづ
等の登録手続きについてははっきりとしめ
されてい
ません。よてい
予定どおりには行かないかもしれませんが、
いま くない ひと きよてんとうじぎょう じつげん
今も区内でいろいろな人が拠点等事業を実現さ
せるためにあつ ぎろん かせ
集まって議論を重ねています。STEP
えどがわもとうぶ ちく いちいん
東部地区の一員として、また、ひとり
おお なかま じりつせいかつ じつげん
多くの仲間の自立生活を実現するためには、
きよてんとう にな ちいき か
拠点等が担う地域づくりが欠かせないという意識
のともにかか 関わっていきたくと思います。みなさま
ぜひ
ちゅうもく
ご注意ください。

きょうどうべんきょうかい ほうりつ じょうやく 7. パルレ共同勉強会～法律・条約について3つのセミナー～(記:パルレ代表 さいがたかこ 雑賀貴子)

うらやすし さいが いりようてき
浦安市パルレの雑賀です。パルレは医療的ケア
じ かぞく ちゅうしん かつどう だんたい
児やその家族を中心に活動している団体です。
さくねん すてっぷ きょうさい
昨年、STEPえどがわさんに共催いただき3つの
セミナーを開催しました。

がつ ごうりてきはいいよ がつ しょうがいしゃけんり
7月に『合理的配慮』、10月は『障害者権利
じょうやく さいご がつ いりようてき じしえんほう
条約』、最後の12月には『医療的ケア児支援法』
の3つで、「き 聞いたことはあるけれど、よく知らない」
ほうりつ じょうやく し おも
法律や条約をまず知ってもらいたいと思い、

ちばけん じょうほうほしょうつ へいよう かいさい
千葉県で情報保障付きオンライン併用で開催し
ました。

せいかつ ふくしじよせいきん
『生活クラブエッコロ福祉助成金』をいただき、
“よしやるぞ!”といういきご うらはら じょうほう
意気込みとは裏腹に、情報
ほしょう し あせ
保障もオンラインも知らないことばかり、焦りまし
た。「テキストファイルって何？」恥ずかしながらそ
んなじょうたい
状態だったのです。

けっきよく じる かた たす
結局、オンラインはJILの方に助けてもらい、

しゅわつうやく こうたいよういん かた ひよう ひつよう
手話通訳も交代要員の方の費用が必要であること、
ぴーしーも じつうやく すてっぷ
PC文字通訳はSTEPえどがわさんがテイカ
ー不足の中、担 っていたかくことでなんとか
かいさい
開催することができました

うんえい
バタバタの運営でしたが、セミナーはそれぞれ
みの
実りがありました。

かいめ いっぱんしゃだんほうじん ゆ に ば のぐちあき な
1回目は 一般社団法人UNIVA野口晃菜さん
から「合理的配慮」についてお話しいただき、
すてっぷ
STEPえどがわさんの「ダンサナクセイバー」を
じょうえいご じぶん しゃかいてきしょうへき かんが
上映後、自分ごととして「社会的障 壁」を 考 える
シナリオ 作 りを 行 いました。参加者の 発 表は
とうじしゃがわ あくやく はな
当事者側だけでなく、悪役?のバリバリアンの話し
で
が出て、ハッとさせられました。

かいめ しょうがいしゃけんりじょうやく えぬびーお-ほうじん
2回目の「障害者権利条 約」ではNPO法人
でい-び-あいにもんかいぎ さいたかのり すてっぷ
DPI日本会議の 崔 栄 繁さんとSTEPえどがわ
くどうとし こ とう ちいき こうさせい
工藤登志子さん等から、“地域の交 差 性”というキ
ーワードと共 に、第一回建設的対話時のジュネー
ブでの様子を お話 しいた だ きました。「条 約」は実



ひだり とうだん いまむら のぐちあき な
左 から、登壇している今村と野口晃菜さ

せいかつ な じ うす ひとりひとり こえ
生活では馴染み薄いものですが、一人一人の「声」
えいきょう つた い み たいせつ
が影 響していること、伝えることの意味や大切さ
はな
をお話しいた だ きました。

かいめ いりようてき じしえんほう ちばけん
3回目の「医 療 的 ケア児支援法」では千葉県
いりようてき じとう さとういくおさま すてっぷ
医 療 的 ケア児等センター佐藤郁夫様とSTEPえど
いちかわひろみ とう はな さとう
がわ市川裕美さん等お話しいただき、佐藤さんに
ちいき しょうがっこう いりようてき じ かよ
は地域の 小 学 校に医 療 的 ケア児が通うためのサ
ポートについて、市川さんからは地域で医 療 的 ケ
アのある人が暮らすために必要な、ヘルパーの
かくたんきゅういんせいど ひろ もんだい はな
喀痰 吸 引制度が広 がる ない問題をお話 しいた
だ きました。

かく かい かいいん いりようてき じ かぞく
各3回ともパルレ会員の医 療 的 ケア児の家族も
はな しょうがいしゅべつ こ かいさい
お話し、障 害 種別を超えたごちゃまぜの開催で
した。このセミナーを通し、情 報 保障を必要とす
ひと そんざい かん さんかしゃ みな
る人の存在を感じることができ、参加者の皆さん
いっしょ まな あ かんしゃ
と一緒に学 び合 えたことに感謝いたします！



ひだり とうだん くどう さいたかのり
左 から、登壇している工藤と崔 栄 繁さん。



ひだり とうだん いちかわ かた いりようてき じ しえん かた
左から、登壇している市川とパルレの方や医療的ケア児の支援をしている方。

3) 当事者参画(当事者の声を届ける)

1. 東京都相談支援従事者研修検討会と江戸川区地域自立支援協議会(記:蛭川涼子)

① 東京都相談支援従事者研修検討会

けんとうかいいいん ねんめ ねんど そうだんしえん
検討会委員4年目。2024年度も、相談支援
せんもんいん しよにんしゃけんしゅう なかみ けんとう しよにんけん
専門員の初任者研修の中身を検討する初任研
チームに所属し、チームリーダーを拝命し7日間
にわたる初任者研修全体を俯瞰するという、
じゅうせき にな なき けんしゅう くに
重責を担うことに…(泣)さらには、研修の国
けんしゅう さんか きかい ところざわ こく
研修にも参加する機会をいただき、所沢の国リ
ハに3日間通いました。東京都以外の相談支援
せんもんいん かたがた であ まな あ きかい きちよう
専門員の方々に会え、学び合う機会は貴重で
したが、…しんどかったあ！！頭からぶすぶす
けむり だ りようこ がんば じぶん
煙を出しながら涼子よく頑張った！自分をほめ
てあげます。

◆ 当事者が計画相談を担うということ

ねんど わたしじん げんにんしゃけんしゅう う
2024年度は私自身が現任者研修を受けなけ
ればならないこともあり、国研修と併せて、2件、
じぶん たんとく かだい と あ ふかん
自分が担当するケースを課題で取り上げ、俯瞰し

てみるということができたのは、その後の動きを
せいり けいけん
整理できてありがたい経験でした。

とうじしゃ そうだんしえん おこな
当事者が、相談支援を行うとき、ピアなので、
きも よ そ きようかん
気持ちの寄り添い、共感はずぐにできますがその
ぶん きも ちか じたい
分、気持ちが近くなりすぎて、うまくいかない事態
はっせい りようしゃ
が発生すると、利用者さんのしんどさにシンクロし
てしまい、自分自身もしんどくなりそうになります。
そうだんいん
でも、相談員は、うまくいかないときこそ、目線を
か りゆう かんが しかた か
変えて、理由を考え、アプローチの仕方を変えて
みる。できていることとできていないことを整理す
る。その繰り返しなんだということを、研修で
おそ
教わることができました。

② 江戸川区地域自立支援協議会

きようぎかいいいん ねんめ ねんめ はつげん
協議会委員2年目。1年目はどんな発言をした
ら良いのか、常に緊張して可能な限り発言原稿
ようい のぞ ねんめ とうじしゃ
を用意して臨んでいましたが、2年目は、当事者と

して、かつ相談支援専門員として出席している
意識が少し芽生えてきた…かな?^^;

34ページに記載させてもらっている通り、
2024年度は、地域生活支援拠点等部会が発足
してひたすらそのことを考える1年でした。拠点
等の機能の中心は相談支援なので、江相連
（江戸川区相談支援事業者連絡協議会）の吉澤
氏の頭脳に引っ張ってもらいながら、必死に私も
勉強勉強…。拠点てなんだろう、STEPはどん
なことを担えるにだろう…そんなことを考えなが
ら参加し続けた1年間でした。

2. 情報保障のあれこれ(記:中曽根鈴音)

STEPで密かに(?)やっている情報保障シス
テム。今年度もたくさんの方に支えられながら
STEPや他の団体の情報保障の取り組みや働
きかけを強化することができたと思います。

現在STEPえどがわでは、20名のテイクーさん
（文字通訳者）に登録いただいております、学生さんか
ら主婦の方、身体の当事者の方もいらっしゃいま
す。主に私に対する情報保障ではありますが、
最近は地域のイベントや研修会、オンラインの
学習会などでも情報保障の相談がくるよう
になり、できる限り対応できるようにしています。

ここで改めて、STEPえどがわの文字通訳の
歴史…(笑)を振り返ってみたいと思います。
私がSTEPえどがわに仲間入りしてからすぐ、職
場内での情報保障についてアドバイスをもらいた

一周回って今、STEPが地域にある意味として
感じていること

- ピア・カウンセリングやILPといったピアサ
ポートを社会資源として地域で暮らす
障害者に利用してもらうこと
 - 楽しいことをたくさんして地域で楽しく暮ら
すロールモデルでいること
- …結局、今まで通りでいいのかも?という結論
(笑)

いと思い、CILに所属している聴覚障害の
当事者スタッフと接点をとって聞き出してみまし
たが、みんなかなり情報保障が確立しておらず困
っている状況がありました。

私も最初のうちは、口の動きを読むことを
頑張っていて、みんなには少しゆっくりめに、はっ
きり話してほしいとだけお願いしていました。が、
やはり口の動きを読むのはかなり集中力や
想像力が必要で疲れてしまうことがありました。

そこで、会議の時は発言したことをスタッフが
順番にワードに文字を打ち出そうという取り組み
が始まり、必要最低限の情報は得られるように
なりました。しばらくこの方法が続いた後、
担当者会議なのに担当者メンバーが頑張って文字
打ちをしていて会議に参加できてない状況に負

め かん どうき
目を感じるようになってしまいました。同期だっ
たなっちゃん(曾田夏記)に相談したところ、外部
からサポートしてくれる人を集めようよ!と、近く
の大学や、知り合いの教授のゼミ生だったりに
声をかけて情報保障の専属サポーターのような
形で、なおかつきちんとSTEPと雇用契約を結
んで情報保障者として活動してもらうという取り
組みが始まりました。

いま つづ げんざい おかもと んのかわ
これが今でも続いていて、現在は岡本と布川
が担当者として引きついでいってくれています。
わたし じょうほうほしゅう すてっぶ
私のための情報保障ではなくて、STEPのため

じょうほうほしゅう ささ ひと
の情報保障、それを支えてくれる人たちという
認識を統一してもらっていて、情報保障はみん
なにとって必要なものという意識づけも出来てい
ると感じています。

じょうほうほしゅう ぼしゅう
情報保障サポーターはいつでも募集していま
す。キーボード打ちが得意な人、得意になりたい人、
できればブラインドタッチができればなおよしです
が、一緒に練習していくのでもオッケーです。
きょうみ かた れんらく
興味のある方はぜひご連絡ください。

こくさいきょうりよくじぎょう 4)国際協力事業

けんしゅう じ りつせい かい えぬじーおーがたいあん 1. モンゴル研修(JIL-JICA NGO型提案プログラム)

き つちや みねかず その1.(記:土屋 峰和)

ねん がつ にち がつむい か にってい
2024年8月30日から 9月6日の日程でモン
ゴル(ウランバートル)へ行ってきました。何でもモン
ゴルへ行ってきたのかというと、国内の自立生活
センターと言われる団体で国際協力プロジェクトというのをやっていて、そのメンバーにSTEPえ
どがわも入っているのです。

にほん じりつせい かい い だんたい
日本には自立生活センターと言われる団体が、
すてっぶ ふく なか
STEPえどがわを含め 120 ほどあります。その中
の 10 団体ほどが国際協力に興味を示し、この
プロジェクトに参加しています。研修のため、
ちゅうなんべい くにぐに にほん しょうがいふくし
中南米やアジアの国々から日本の障害福祉サ
ービスや自立生活センターのこと等を学に障害
とうじしゃ らいにち さまざま まな けいけん え じこく
当事者が来日し、様々な学びや経験を得て自国

もと くに じりつせい かい せつりつ
へ戻り、それぞれの国で自立生活センターを設立
しています。日本での研修やセンター設立、
せつりつご とうちようきてき しえん ひつよう
設立後のフォロー等長期的な支援が必要となる
ため、JICAさん協力ののもと進めているものです。

このプロジェクトは年単位で行われているので
すが、今回は 6 カ国(パキスタン、ネパール、カンボ
ジア、ベトナム、モンゴル)へ数団体からなるそれ
ぞれのチームが行きました。モンゴルへは兵庫の
メインストリーム協会、静岡の C I L こねくと、
すてっぶ つちや たなか はらしま
そしてSTEPえどがわ(土屋、田中、原嶋)の 3
だんたい かいじょしゃふく そうざい めい い
団体、介助者含め総勢11名で行ってきました。

モンゴルでは、2010年にダスキン研修で来日
した障害当事者が、その学びと経験をもとにモ
ンゴル初の C I L (通称UPセンター)を設立し

ています。その後とても精力的に活動を続け、今
ではモンゴル国内に7つのC I Lができ、モンゴ
ル政府とも良好な関係を構築しつつあります。



ドラマV I V A N T ロケ地の広場。誰だかわ
らない偉い人の像の前で集合写真。



UPセンター事務所での歓迎会。長〜いテー
ブルの上に沢山のモンゴル料理が並び、みんな
で食べました。

今回の訪問した目的はいくつかあるのですが、
その中の1つが障害者開発庁で開かれる、
自立生活概念セミナーに出席、登壇することで
した。この中でも僕の中で印象に残っていること

があります。

このセミナーは同庁舎内で行われ、参加者に
は次官を含む同庁職員や相談員さん等約100
名が来られていました。自立生活体験をしている
当事者も数名いましたが、ほぼ行政側の方々で
す。ここで話して欲しいのは、施設での生活はつら
いことの方が多いという部分を強調して話して
欲しいという事でした。私自身、病院と施設で
合計8年ほどを過ごした経験があります。その時
の辛かったことや、嫌だったことなどの経験を話
して欲しいと。

モンゴルでは今、施設を作る・増やす動きになり
つつあるのだそうです。施設に行けば困ることも
なく、安心して過ごすことができると行政の人た
ちは考えている。しかし実際に施設で過ごした人
の感想はこうです。施設での生活は幸せな生活
ではなく、実際は辛いことの方が多い。と、いうよ
うな話をして、行政側に思いとどませたいと
いう事でした。

そのことを切実に説明してくれる雰囲気、
私はちょっとびっくりしました。そこまでの強い
危機意識を持って何とかしたいという、当事者の
思いを感じたからです。こういった活動こそが
当事者でないとできない、気付かない部分なので
はないかと、この時に改めて思いました。



ふうけい かんけい
セミナー風景。関係ないけど、スクリーンはプロジェクターではなく、LEDパネルだった。これ良いなあ。



しゃどう ほどろ どうろじょうきょう
車道も歩道も道路状況はわかった。穴が
ひら ところ おお だんさ あめ ふ いち
開いている所も多く、段差も。雨が降ると一
めんみず
面水たまりのところもちらほら。怖かったのは、
みず どうろ ひら あな
水たまりは道路に開いている穴がわかりずら
くなること。

モンゴルでは日本より先、2008年に障害者
けんりじょうやく ひじゅん ひじゅんいこうしせつ
権利条約に批准しています。批准以降施設から
ちいき いこう すす
地域への移行が進められているみたいなことは聞
きました。実際には矛盾しているようにも感じ
ます。モンゴルにはこれまでC I Lがありません
でした。C I Lができた事でこういった動きにも
びんかん はんのう とうじしゃ してん かつどう いけん つた
敏感に反応し、当事者の視点で活動し意見を伝え
ることが、よりニーズに近づけていけるのではな
いかと思いました。

ちょっと視点を変えてモンゴルについて少しだ
け。概要はこんな感じです。

- 直行便の飛行機で6時間くらい
- 国土面積は日本の約4倍
- 人口は日本の約35分の1
- そのうち約50%が首都ウランバートルに
しゅうちゅう
集中
- 交通手段は基本的に車
- どこも常に大渋滞で移動が大変
- 走っている車の8割くらい(私感)がトヨタ車
- 道路・歩道の路面状態は悪い

バリアフリー状況はこれからという感じで、
くるまいす いどう たいへん たんどく
車椅子での移動はけっこう大変でした。単独での
いどう ほどろじょうきょう きび しょくじ
移動は歩道状況などから厳しいかな。食事はい
ろいろ食べましたが、思っていたよりクセはなく、
お い き こくごたいちようくず
むしろ美味しかった(帰国後体調崩したけど
(^_^))。



こっかいぎいん しょうがいしゃ ふたり
国会議員に障害者が2人いるそうで、そのうち
ひとり めんかい ぎじどう なか
の1人と面会することができた。議事堂の中、
すごく豪華そうな部屋の中でみんなすこし
きんちょう
緊張。。。。

モンゴルではいままさに制度が動いている真っ
ただなか かいじょせいど じゅうじつ
只中です。介助制度もこれから充実していくと
おもわれます。UPセンターには私と同じ頸髄
そんしょう かた すうめい かれ かのじょ せいかつ
損傷の方も数名いました。彼女彼女の生活が
こんご か かわっていきのか。顔を思い浮かべなが
ら応援するとともに、この経験を今後の活動に活
かしていきたいと思ひます。

その2. (記: 田中 麻実)

じる じゃいか えぬじーおーがたていあん つちや
JIL-JICA NGO型提案プログラムで、土屋
さんと原嶋さんと田中でモンゴル研修に参加して
きました。土屋さんが真面目なことを書くというこ
とで、田中は思い出を記録に残そうかなと思ひ書
き始めます。

わたし かず かいはずとじょうこく なか
まず私が数ある開発途上国の中からモンゴル
しがん すもうたいこく
を志願したのは、相撲大国だからです。

にほん かつやく りきし たいてい じん わたし
日本で活躍している力士は大抵モンゴル人。私
は力士のお尻から太ももにかけてのシルエットが
大好きです。

しょうがいしゃうんどう かんけい わ
障害者運動となんの関係があるか分かりませ
んよね。モンゴルを志願した理由が不適切ですね。

でもい なに まな しん
で行けば何かしらの学びはある！そう信じて
と た
飛び立ちました！



はねだくこう いっしょ つちや あさみ
羽田空港で、ウルトラマンと一緒に土屋・麻実
も「シュワッチ」！！

しゅと くるましゃかい
モンゴルの首都、ウランバートルは車社会なの
でとにかくすごい交通量で常に渋滞。車で10
分の所へは歩いたほうが早いらしい。そして
ちゅうおうぶんりたいがい しゃせん む し こうつう
中央分離帯以外の車線はみんな無視。交通ルー
ルがないのか？と思うほど。とにかく空気が悪く、

みち 道はガタガタ、空港からホテルまでの道 中で何度
いす 椅子の上で飛び跳ねたことか…きっと当事者の
つちや 土屋さんも飛び跳ねていたことでしょう。

しかし、ウランバートルから離ればそこはもう
だいしぜん 大自然！！草原には野生の牛や馬が走っている
ふうけい 風景がたくさん見られました。なんと言っても、夜
になると満天の星空！！滞在の中に放牧民が
いどうせいかつ 移動生活のために使う伝統的な住居「ゲル」に1
ばく 泊させてもらいましたが、そこでの星空は人生で
み 見た中で1番綺麗な空でした。ゲルは入口に少し
だんさ 段差がありますが、のこ 乗り越えられる程度なので車
いすでも問題なく入れました。中はとても広く、
くるま 車いすの方が10名は入れるような広さでした。



ゲルの中でみんなでご飯を食べました～。車
いすでも生活できるフルフラットのゲルでし
た。こういうゲルを増やしていきたいと話して
いました。



もとよこづなはるま ふ じ けい えい にほんごがっこうほうもん
元横綱日馬富士経営の日本語学校訪問。
にゅうがくしき さんれつ あさみ となり
入学式にも参列。麻実も隣にちゃっかりポ
ジションをとっていました。

そして食事についてですが…野菜を食べる
しゅうかん 習慣があまりないようで全然野菜が食べられず、
ホテルの朝食についていた2～3枚のレタスを
かみ 締め 食べてみました。とにかく肉食。ラムや
ぎゅうにく 牛肉がメインで、モンゴルのCIL(自立生活セ
ンター)「UPセンター」でいただいた家庭料理はど
れも美味しかったです。わたしは「ホーショール」と
いう、日本でいう揚げ餃子のようなものが一番ラ
ム肉を感じられ美味しかったです！！

ここまで本当に私自身の思い出話を書き出
してしまいましたが…

モンゴルのCILの方々に今回お世話になり
ましたが、少しその辺りにも触れておきたいと思
います。

「UPセンター」はほとんどが頸椎損傷の
当事者でした。その中に数名、脳性麻痺の当事者
がいる感じです。介助者は少なく、センター内では、

けいど のうせい ま ひ かた じゅうど ね
軽度の脳性麻痺の方が重度な(ほぼ寝たきり)
のうせい ま ひ かた しょくじかいじょ しょうがいしゃどうし
脳性麻痺の方の食事介助をしたり、障害者同士
かいじょ ばめん た た
で介助をしあう場面が多々ありました。

せいど かんきょう ととの にほん
制度や環境が整ってきている日本ではなか
なめ こうけい かいはつとじょうこく ま あ
な目にする光景ではなく、開発途上国を目の当
かん ひと
たりに感じました。しかしモンゴルの人たちは、こ
しょうがいしゃ じぶん い
れから障害者がより自分らしく生きられるために
せいふ かつどう べんきょうかい かいさい
政府へのアピール活動、勉強会などを開催して
ちからづよ かん
おり、とても力強さを感じました。

せいど かんきょう ととの
また、制度や環境が整っていなくても、みんな
つね えがお たの く ようす かんめい
常に笑顔で、楽しく暮らしている様子には感銘を
う こうふくと みずか つく こうふくと
受けました。幸福度とは自ら創るもので、幸福度
たか ひと あつ よ
の高い人たちが集まるとさらにより良いものが生

だ わたし まな にほん もど わたし
み出されると私は学びました。日本に戻り、私
なに つね いしき かんが すてっぷ
に何ができるかを常に意識し考え、STEPえどが
かか こうふくと あ い
わに関わるみなさんと幸福度を上げて生きたいと
おも
思います。

さいご わたし おも で い
最後に私のモンゴル思い出ランキング2位は
はるま ふ じ あ
「日馬富士」に会えたこと。そして第1位は「モンゴ
ルのお土産屋さんで日本人全員に置いてきぼりに
み や げ にほんじんぜんいん お
され、あやうくモンゴルで迷子になるところだった」
まいご
ことです。

わたし かお じん まちが
私の顔は、モンゴル人に間違えられるほどモン
ゴルフェイスだそうで、迷子になったらなつたで、モ
まいご
ンゴルで違和感なく生きていけたかもしれません。

5) イベント

1. お花見とクリスマスパーティー(記:井家上智子)

2024年度も「お花見」「クリスマスパーティー」
を行いました！

3月30日に春江の森公園にて行われた「お花見」では、快晴！汗ばむ陽気となりました。
肝心の桜は…「あ、咲いてるの見つけた！」と、探すのが大変なくらい咲いてなかったのですが、70名以上の方が足を運んでくださり、中にはワンちゃんも連れて参加する方も(笑)。皆様からの差し入れは、サーモンの桜寿司、お酒、お菓子なども盛りだくさん。皆さんおいしいものを囲んで顔を合わせて笑顔が飛び交い、話に花を咲かせておりました！

最近恒例となってきた抽選会では、見事1位を当てた方は「近江牛」をゲット。

おいしく楽しく年度最初の盛大なお花見となり、新たに生活介護事業所を立ち上げる方たちも繋がったりと、年々繋がりが増え今年も新たな出会いとなったお花見でした ♡



桜が散ってしまっている公園。ビンゴゲームで当選した4名の記念撮影。



青空の下で約50名の利用者やヘルパーなどが全員集合の記念撮影。

そして、年末の締めくくりは「クリスマスパーティー！」12月14日に東部区民館で行いました。

今回は、水曜日に行っている「水Do」に参加している皆さんにご協力いただき、愛情込めて「手作り巾着」「ツリー飾り」の制作をしてくださいました。

クリスマスパーティー当日は、あの有名な？

ディケー さんか
TKパークさんも参加。「アイドルオーディション」
が開催され、みんなで曲に合わせてステージでダ
ンス♪文字通訳、手話通訳もみんなでノリノリ☆ダ
ンサナクセイバーもオーディションに向けて練習
した「オタ芸」で応援。すると昨年現れたゾンビ
が再び…。「ワタシモアイドルニナリタイ」。最後は
みんなで踊って「全員オーディション合格!!」

その後は、有志の方がピアノ演奏を披露したり、
ダンスを披露したり、とても楽しい時間となりました。
希望者にはアイドルメイク。つけまつ毛付けて
ギャル顔に。ゾンビ希望の方はゾンビ顔に…。
抽選会はゾンビ達が進行をお手伝い。水Doで
作った巾着も景品として準備。当たった方にお
持ち帰りいただきました。

パーティーが終わるころには、子どもから大人、
呼吸器ユーザーの方までがギャル顔とゾンビ顔と
なり、もちろん集合写真はすごい事に…(笑)。
今回も楽しいクリスマスパーティーとなりました。

これからも、STEPえどがわのイベントを皆さん
と一緒に楽しめる様、いろいろ工夫を凝らして
開催して参りますので、ぜひ遊びに来てくださ
いねー!!



かべ おうだんまく まえ
壁にクリスマスパーティーの横断幕。その前で
サンタクロースの格好をしたダンサナクセイバ
ーや子供たちが踊っている。



にん さんかしやぜんいん きねんさつえい
50人ほどの参加者全員で記念撮影。ゾンビの
かそう
仮装やギャルメイクをしている人もいます。

2. 映画上映会「大空へ羽ばたこう」(記: 中曽根鈴音)

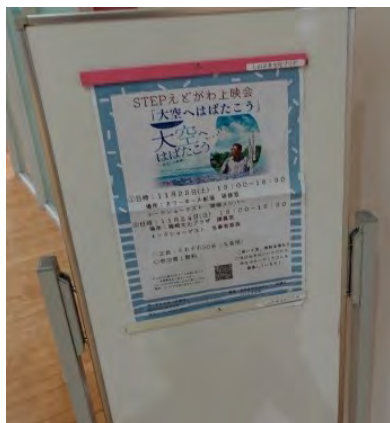
がつ にち にちふつ か かんれんぞく すてつぷ
11月22日、23日2日間連続でSTEPえどが
わ主催「大空へ羽ばたこう～自立への挑戦～」と
いう映画の上映会を行いました。

えいが ちてきしょうがい ひと じりつしえん
この映画は知的障害の人の自立支援をテーマ
にしたドキュメンタリー映画です。

すてっぷ
STEPえどがわでこれから徐々に取り組んでい
きたいテーマでもありました。

「入所施設は必要なのか？」の問いに、これま
で多くの専門家や福祉関係者が様々な意見を言
っている中で知的障害当事者の声は少なく、こ
の映画では知的障害者が実際に取材し、そこで
感じた生の声が入っていました。また入所施設
から地域へ出た利用者さんの表情や、長く施設
にいた人が地域生活をする中で起きた変化など
を見ることができました。

1日目のトークショーのゲストは「潜福(せんぷ
く)」といって、障害当事者含めた福祉関わる
若手達が自分の想いを綴って寄稿する冊子があ
り、そのメンバー5名をゲストに招き、STEPの
若手スタッフの岡本に進行をしてもらいました。ゲ
ストメンバーも知的障害者の支援の経験がある
人がいましたし、もちろん普段から知的障害の方
と関わっているという人もいて、いろんな立場か
らエピソードや映画の感想を聞けて、私自身さら
に視野が広がったような気がしました。



上映会用の「大空へはばたこう」のポスター
が入口のホワイトボードに貼ってある。



広い会議室で映画を鑑賞している人たちの後
ろ姿。

2日目はSTEPのヘルパーをしてきている呉
さんと知的障害のある息子さんをゲストに、お話
しいいただきました。息子さんもよくSTEPのイベン
トに遊びに来てくださっているのですがちゃんとお話
をきいたことがないなと思ったので、今回どのよ
うな経験をしてきたか、日々の生活のことなどお
話しいいただきました。

両日とも学生さんから地域の当事者の方、
福祉関係や放課後ディサービスのスタッフの方、
当事者のご家族の方などに来ていただいて出会い
もあった2日間でした。引き続き上映会を通して
様々なことを学んでいけたらいいと思います。



上映会後のトークショー。十数人の観客の前で、
知的障害のある息子さんとお母さんが話してい
る。その右隣に今村、その隣に文字通訳者。

3. バリアフリー演劇「星の王子様」

その1. (記:中曽根鈴音)

2025年2月21日22日にタワーホール 船堀
でバリアフリー演劇鑑賞会を行いました。

STEPえどがわとしては3年連続の開催になります。今回もバリアフリー演劇のプロでもあります。東京演劇集団風のみなさんにきていただき、例えば視覚・聴覚の情報を伝える舞台手話や字幕や音声ガイドが演出の中に組み込まれていたり、舞台の広さや構造、出演者やサインネームを紹介する舞台説明もあるなど、誰もが同じ時間・空間を共有しあえるような工夫がしっかりとされた中で私たちは安心して参加をしました。今年度は「星の王子さま」の演目で2日間連続で開催しました。両日満席となりお客さんも完全に入れ替えという形をとらせてもらっていたので合計300人以上の方と一緒にバリアフリー演劇の空間を作っていました。手話歌「ぼくの旅は続く」では、たくさんの方がステージに上がってくれました。みんな思い思いに表現をされていて、それがみんなそれぞれ違って、違うからなんだかおもしろくて、それに混ざり合っただけでもきれいで、そんな経験のきっかけとなる東京演劇集団風の皆さんには感謝しています。また今年度も開催予定なので皆さんお楽しみにしていってくださいね。

今回主に担当して下さった風の渋谷愛さんからもコメントをいただきました(^^)

バリアフリー演劇「星の王子さま」公演を終えて

(記:東京演劇集団風・俳優 渋谷愛)

誰もがありのままの姿で、共に生きる社会を願ったインクルーシブボールが、劇場のなかを舞う光景はほんとうに美しかった。

STEPえどがわと東京演劇集団風のバリアフリー演劇の協働は、三度目になりました。我々がリーダー中曽根鈴音さん、理事長の今村登さん、スタッフの方々の熱い想いがあってこそ、実現できる公演です。演目の『星の王子さま』は、王子さまが旅をしながら友だちや、かけがえのないものと出会う物語。今回、王子さまを励ましてくれる「呑み助」と「地理学者」という重要な役で、利用者さんと支援者さんが出演してくれました。この公演のために鈴音さんと何度も言葉や考えを交わして大切にすることは、出演する利用者さんや劇場へ来てくれるみなさんが、自分の意思を自由に、思いきり表現できる場をつくることでした。ドラマ＝演劇の語源は、ドローメノン。古代ギリシア時代に生まれた言葉で、自分の力では及ばないことを誰かと一緒に強く希求することを意味します。舞台と客席の垣根を悠々と超えて、王子さまと演じる子供や障害のある方たち。その姿を温かい眼差しで支える人たち。誰もが主役になって、心を通わせられたあの空間が、演劇そのものを言い表していたように感じました。今回もたくさんの出会いと喜びを生んでくれたSTEPえど

がわのみなさんに心から感謝します。そしてこれから一緒にバリアフリー演劇を深化させて、人や未来について語り合える仲間であれたら幸せです。



舞台上で大勢の役者と観客が笑顔で両手を挙げている。



役者の王子と地理学者役の利用者さんが顔をみあわせている。

その2.(記: 津田 浩史)

風さんの作るステージと演目は差別なく誰もが参加でき、車いすの方々もステージに上がれたり

元気のいい声援があったりステージ遊び始める子
上映会後のトークショー。十数人の観客の前で、
知的障害のある息子さんとそのお母さんが話している。その右隣に今村、その隣に文字通訳者がいたりしても見れる芝居、安定感芝居、そしてなぜかその方が面白い芝居であり、その公演のお客さんごとに違う、まったくもって同じ芝居は無いところに魅力を感じました。

こんかいの風さんの星の王子様は瑞江のお客さんそしてSTEPえどがわが携わった2回限りのとても素敵な芝居となり、やはり星の王子様の1回目と2回目はそれぞれの展開と面白さがあり僕にとって貴重な経験をさせてもらいました。

またナクセイバーSHOWでは、締めくくりのバリバリアンを倒すところはワイワイガヤガヤお客さんも演者もぐるぐるステージや客席を入れ替えながら、舞台と客席の境界線を越え、みんなを巻き込んで「インクルーシブ大切に思う気持ち」を巨大風船ボールに溜め込んで一致団結でバリバリアンにぶつけまくる、この瞬間が大変面白かったです。バリバリアン側になってしまったお客さんもナクセイバー側に寝返るそのアクトを素敵でした。

来年も必ず公演したいと思います！

その時はまた、その瞬間を皆様と共に面白くおかしく楽しいナクセイバーSHOWを行いますので、是非観にきてください。



ふたり の すけやく あいだ いぬ かぶ もの
2人の呑み助役とその間に犬の被り物をかぶっ
つだ
た津田がしゃがんでいる

こうほうかつどう ほうこく き やまだ め い 6) 広報活動の報告(記:山田芽唯)

2024年度は以下のSNSツールを使用して、
広報活動を行いました。

ぜひ下記のQRコードからのぞいて、ゆるっと
見守っていただけると嬉しいです。

この中でも、特に鮮度の高い情報をお届けして
いる①InstagramとFacebook、②LINE
open chatについて詳しくご紹介したいと思い
ます！

①Instagram, facebook

STEPの仲間たちが日々行なっている自立支援
事業やイベント、外部の方々との様々な交流の
様子を発信しています！

そしてなんと…！STEPをより身近に感じてもら
いたいということで、事務所で繰り広げられる

ゆかい なかま ようす たの けいかい とも
愉快的仲間たちの様子も楽しく軽快なボケと共に
!?掲載しちゃったりしています。

じりつせいかつ すい
自立生活センターってなにしているところ？水
Do(水曜Doでしょう)ってなにということ??

ねんじほうこく ぶんしょう み
と年次報告の文章を見てくれているそのあな
た！！実際の様子がより分かると思うので、ぜひ
これらのSNSをご覧ください。

すこ すてっぷ おもしろ わたし いっしょ
少しでもSTEPって面白そうだな、私も一緒に
そとで 外出てみたいな、やってみたいな、働いてみたい
なと思って貰える発信ができればいいなと思って
います★

そして面白い発信に自分も加わりたい！！とい
う方も大募集ですので、画像と文章を添え
てSTEPのメンバーに送ってください！こちらの
アドレス【[main@step-](mailto:main@step-edogawa.com)
[edogawa.com](mailto:main@step-edogawa.com)】などからでもお待ちしていま
す。



いんすたぐらむ にじげん
Instagramの二次元バーコード



ほむページ にじげん
HPの二次元バーコード



えっくす にじげん
Xの二次元バーコード

②LINE open chat

こちらでは、STEPが主催・協働するイベント等の情報を発信しています。これらのイベントをお手伝いして下さるボランティアさんの募集も行ってっているので、ぜひ皆さんのお力をお借りしたいです!!! よろしく願いいたします!



らいん にじげん
LINEの二次元バーコード

7)外部との連携、啓発活動

STEPえどがわは様々な外部団体や学校等と連携、協力して活動の場を広げています。これらの活動は「障害者の自立生活」の理念を一般社会へ伝えるとともに、介助現場に携わってく

れる人材獲得にもつながっています。2024年度は以下の活動を行いました。活動の場は多岐にわたるため、分類ごとに分けて記述しています。

1. イベント、行事

- 5/17 さんしょうがいフォーラム「L G B T Q 多様な性にyesの日」【今村、土屋、中曽根、蛭川、工藤、鈴音】
- 5/24江戸川区福祉関係者団体交流会「わっしょい! えどがわ」【蛭川】
- 7/28海老原宏美基金 朗読 & 座談会【工藤】
- 1/25<海老原宏美基金令和6年度成果報告会>【工藤】
- 3/9第2回江戸川区特別支援学級・学校進路フェア ブース出展【今村、中曽根、蛭川、工藤、鈴音】
- 3/9 みみの日ナクセイバー出演【土屋】

2. 検討会、委員会、地域連携業務等

- さんしょうがいフォーラム【^{ひるかわ}蛭川・^{くどう}工藤・^{いまむら}今村】
^{ていれいかい}<定例会>5/7、7/10、9/29、11/15、1/30、3/17
- 江戸川区相談支援事業者連絡協議会(江相連)【^{ひるかわ}蛭川】
^{りじかい}<理事会>4/10、6/12、7/11、8/7、9/11、10/18、11/18、2/18、3/12
^{けんしゅうぶかい}<研修部会>5/17、5/22、6/5、6/6、8/26、9/17、11/28、12/18、2/21
^{そうかい}<総会>5/24 ^{ていれいかい}<定例会>9/10、10/8、2/18
- 江戸川区移動支援等連絡会(移動連)【^{ひるかわ}蛭川】2/5
- 江戸川区障害者団体連絡会(障団連)
^{ひるかわ}【^{りんじていれいかい}蛭川】<臨時定例会>3/27 ^{くどう}【^{れいわ}工藤】<令和6年度第3回連絡会>2/5
- 江戸川区ピアサポート研修打合せ【^{くどう}工藤】1/16
- 江戸川区地域自立支援協議会【^{ひるかわ}蛭川】
^{ほんかい}<本会>5/22、11/13、2/5
^{ちいきせいかつしえんきよてんなどぶかい}<地域生活支援拠点等部会>8/26、9/9、10/15、11/1、12/11、1/27、2/25
^{きよてんぶかい}<拠点部会フロー作成 W G>2/13、3/11 ^{きよてんぶかいけいはつ}<拠点部会啓発チーム W G>3/24
- 江戸川区の精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築事業【^{ひるかわ}蛭川】
^{わーきんぐぐるーぶ}< W G>5/28、6/28、8/20、9/25、11/8、12/4、2/12
^{ぜんたいかい}<全体会>7/16、2/13 <ワークショップ>11/21
- 江戸川区災害ボランティア P T (EMINBO) 【^{いちかわ}市川】9/10
- T V A C 【^{いちかわ}市川】2/16
- マンション防災組合講義打合せ【^{つちや}土屋】1/5、1/26
- もぐらの家 オンブズマン活動
^{つちや}【^{ひるかわ}土屋】4/9、6/4、8/6、9/27、12/17、3/11 【^{ひるかわ}蛭川】7/25、10/31、1/29
- 東京都相談支援従事者研修検討会【^{ひるかわ}蛭川】
^{ほんかい}<本会>5/31、8/9、12/20、3/14 ^{ないようせいり}<内容整理チーム会議>7/5、10/4、3/4
^{しよにんけん}<初任研チーム会議>5/29、6/14、8/5、9/20、9/24、2/10
- 第6回移動等円滑化評価会議関東分科会(関東運輸局)【^{くどう}工藤】6/20
- スポーツ庁訪問(D P I 日本会議バリアフリー部会)【^{くどう}工藤】6/21
- サイトラインの確保等に 係 る検討 W G (国土交通省)【^{くどう}工藤】6/27、12/9、1/28

●視覚障害者等の読書環境の整備の推進に係る関係者協議(厚生労働省)【工藤】7/1、10/28、12/16 ●令和6年度第1回新たな日常生活における障害者・高齢者アクセシビリティ配慮に関する国際標準化委員会 本委員会(共用品推進機構)【工藤】7/23 ●障害者等の航空機非常脱出に関する意見交換会 事前打合せ(国土交通省)【工藤】8/30 ●鉄軌道のバリアフリー化の整備推進に関する検討会 事前打合せ(国土交通省)【工藤】9/12、12/10 ●アクセシブルな電子書籍市場等の拡大等に関する調査 第一回検討委員会オブザーバー参加(経済産業省)【工藤】9/13 ●U D タクシー乗車運動実行委員会(D P I 日本会議)【土屋・工藤】9/13、10/3 ●U D タクシー乗車運動報告の国交省訪問(D P I 日本会議)【工藤】11/8 ●鉄軌道のバリアフリー化の整備推進に関する検討会(国土交通省)【工藤】10/9、2/17 ●第1回 障害者等の航空機非常脱出に関する意見交換会【土屋】10/9 ●国際園芸博覧会第2回アクセシビリティ・ガイドライン検討会【工藤】11/25、2/21 ●J R 東日本意見交換会【土屋・工藤】12/3 ●国立公園の施設整備のU D 化についての意見交換(環境省)【工藤】12/12 ●国際園芸万博テーマ別検討会【工藤】12/20 ●J リーグスタジアムでの車いすユーザーへの対応状況について話し合い【工藤】2/19 ●図書館におけるアクセシブルな電子書籍サービスに関する検討会(文部科学省)【工藤】2/19 ●公明党バリアフリーP T【工藤】2/27 ●第13回移動等円滑化評価会議(国土交通省)【工藤】3/5 ●障害者ピアサポート研修の実施内容の検証及び更なる効果的な実施方法の確立に向けた研究【蛭川】 <検討委員会>6/1、8/12、10/18、12/13、1/6、2/17、3/7 <ヒアリング協力>7/19 <JIL組(身体領域)W G>9/6、9/23、11/23、12/7 ●JIL(全国自立生活センター協議会) 【今村】 <常任委員会(副代表:12月末辞任)> <政策委員会(委員長)> <研修啓発委員会> <国際協力P T> <WIN>	
--	--

こっこうしょうかんけい いどうとうえんかつかひょうかかいぎあんどう ベついいけんこうかんかい
＜国交省関係＞ ＜移動等円滑化評価会議 & テーマ別意見交換会＞

しょうがいしゃとう ひなんゆうどう かかわ いけんこうかんかい
＜障害者等の避難誘導に係る意見交換会＞

てつどう しょうがいしゃ りようかんきょうかいぜん む いけんこうかんかい むじんかたいさく とう
＜鉄道における障害者の利用環境改善に向けた意見交換会(無人化対策)等＞

しょうがいしゃ きょじゅう たいおう じゅうたく せつけい さくてい
＜障害者の居住にも対応した住宅の設計ガイドラインの策定＞

ぎ む か けんとうかい じつこうせい たんぽ
＜サイトライン義務化検討会(ガイドラインで実効性を担保)＞

でいびーあい えぬびーおーほうじん でいびーあい ほんかいぎ
●D P I (N P O 法人 D P I 日本会議)

いまむら
【今村】

じょうにんいんかい じむきょくじちよう がつ がつ がつ がつ がつ
＜常任委員会(事務局次長)＞4月、8月、10月、12月、2月

かんじかい じむきょくじちよう がつ がつ がつ がつ がつ
＜幹事会(事務局次長)＞5月、7月、9月、11月、1月、3月

ぜんこくしゅうかいあんどうそうかい がつ せいさくとうろんしゅうかい がつ
＜全国集会 & 総会＞6月 ＜政策討論集会＞12月

ちいきせいかつがかい ぶかいちよう ぐうすうづきかいさい そうかつしよけんびーていー まいつき
＜地域生活部会(部会長)＞偶数月開催 ＜総括所見 P T＞毎月

だつしせつばんきょうかい じむきょくかいぎ まいつき ばんきょうかい ねん かい
＜脱施設勉強会＞事務局会議(毎月)、勉強会(年4回)

でいびーあい ほんかいぎ とうきょうだいがくだいがく じんきょういくがくけんきゅうか
＜D P I 日本会議と東京大学大学院教育学研究科との

フルインクルーシブ教育事業に関する協定書に基づく東大での集中講座＞

とりつこうこうじゅぎょう こう まな とうきょう
＜都立高校授業(4校:インクルーシブな学び東京コンソーシアム)＞

こうろうしやうそうごうふくしじぎょう しょうがいしゃ ちいきしえん ふく しょうがいしゃしえんしせつ かたけんきゅう
＜厚労省総合福祉事業「障害者の地域支援も含む障害者支援施設のあり方研究」＞

こうろうしやうか けんひ ちいきせいかつしえんきよてんどう
＜厚労省科研費「地域生活支援拠点等における

コーディネーターに求められる役割や業務等の明確化のための研究」＞

ねんみん かいがいけんしゅう たいざいちゅう じゅうどほうもんかいご りよう
＜1年未満の海外研修、滞在中の重度訪問介護サービス利用を

せいしき みと つうたつ はつしゅつ じつげん
正式に認める通達の発出を実現＞

ちやうようぼう うんよう かん ようぼう
＜スポーツ庁要望「スタジアムの運用に関する要望」＞

ていーあいえる えぬびーおーほうじんとうきょうとじりつせいかつ きやうぎかい
●T I L (N P O 法人東京都自立生活センター協議会)

いまむら
【今村】＜運営委員会(理事)＞

ひるかわ うんえいいんかい
【蛭川】＜運営委員会＞5/24、6/24、3/17

3. 視察、見学、研修、勉強会等

けんしゅう えどがわくそうだんしえんせんもんいんとうけんしゅう
●ブラッシュアップ研修(江戸川区相談支援専門員等研修)

ひるかわ
【蛭川】5/28、6/28、7/29、9/18、10/29、11/27、12/26、2/25

くどう なかそね きやうどうじれいけんとう
【工藤・中曽根】1/23(ピアサポーター協働事例検討)

- とうきょうとそうだんしえんじゅうじしゃけんしゅうげんにんしゃけんしゅう こうしんけんしゅう ひるかわ東京都相談支援従事者研修現任者研修(更新研修)【蛭川】8/22～8/23
- れいわ ねんどうそうだんしえんじゅうじしゃしどうしやようせいけんしゅう こっけん ひるかわ令和6年度相談支援従事者指導者養成研修(国研)【蛭川】6/19～6/21、3/7
- えどがわくちいせいかつしえんきよてんどう べんきようかい ちいせいかつしえんきよてんどう せいびしゅたい江戸川区地域生活支援拠点等の勉強会「地域生活支援拠点等のこれまでとこれから」～整備主体である自治体と民間事業所等との官民協働での取組を考える～【蛭川、今村、井家上】7/3
- じる ぜんこくJIL全国セミナー
がつ くどう(5月)【工藤】5/25、5/26
がつ いまむら つちや くどう ひるかわ(12月)【今村、土屋】12/10～12 【工藤】12/10、11 【蛭川】12/12
- じりつせいかつ めざ ちいせいかい しーあいーえる えんじょい自立生活センターが目指す地域社会とは！(C I Lくにたち援助為センター)
ひるかわ くどう【蛭川、工藤】3/26
- じる えぬじーおーとうていあながたJIL-NGO等提案型プログラム
つちや こくないけんしゅう がっしゅく きようかい【土屋】<国内研修>4/26 <合宿(メインストリーム協会)>5/18
かいぎ けんしゅう<モンゴルチーム会議>8/15 <モンゴル研修>8/30～9/6
つちや くどう ほうこくかい【土屋、工藤】<報告会>9/19
- でいーびーあいーほんかいぎD P I日本会議
つちや【土屋】
ぶかいかいぎ<バリアフリー部会会議> 4/11、6/13、7/11、8/8、10/10、11/14、1/9、2/13、3/6
だい き ねんど しょうがいとうじしゃ ようせいけんしゅういんとうきょう ばりあふりーけんしゅう じつこう<第17期2024年度バリアフリー障害当事者リーダー養成研修in東京(B F 研修2024)実行
いいんかいかいぎ委員会会議> 4/18、6/13、6/27、7/2、7/11、8/8、9/11、10/2、10/7、10/10、10/11、
10/13、10/29
じょうにんいんせんきよたちあいーん<常任委員選挙立会人>6/1
せいさくとうろんしゅうかい<政策討論集会>12/7
くどう【工藤】
しょうがいとうじしゃ ようせいけんしゅう<バリアフリー障害当事者リーダー養成研修>10/16
しょうがいしゃさべつ かん そうだんまどぐち まどぐち じっせきほうこくかい<障害者差別に関する相談窓口「つなぐ窓口」の実績報告会>12/4
- じゃいかとこうかんり せつめいかい つちやJICA渡航管理システム説明会【土屋】4/18
- だい かいじゃいか えぬじーおーとうていあながた じりつせいかつ すいしん こくさいきようりよく第8回JICA NGO等提案型プログラム「自立生活を推進するための国際協力ステップアップ
けんしゅう研修」
くどう【工藤】4/26
のりかえあんないじつしやうちようさ いけがくろえき あさくさえき<乗換案内実証調査>(池袋駅)10/8 (浅草駅)11/28

つちや くだう
【土屋、工藤】

じえいあーとうかいとうきょうえき しやりょう だんさ すきまたいさくかしよ けんしやう
＜ J R 東海東京 駅のホームと車両の段差・隙間対策箇所の検証＞1/21

けんしゅう つちや
●バリアフリー研修2024【土屋】

しげや しさつ ほんけんしゅう こうつう ざいだんほうこく
＜渋谷ルート視察＞9/23 ＜本研修＞10/14～16 ＜交通エコモ財団報告＞1/30

しかくしょうがいしやうどう き き えぬていーていー
●視覚障害者誘導機器(ぶるナビ)(NTTドコモ)

じっしやうしけんうちあわ つちや じっしやうしけんあつとしんじゅくえき つちや くだう
＜実証試験打合せ＞【土屋】6/11 ＜実証試験 @ 新宿駅＞【土屋、工藤】7/2

べんきやうかい こくどうつうしやう くだう
●ライドシェア勉強会(国土交通省)【工藤】4/19

なりたこうこう ぶんかかい や ちよ かぶしきがいしや
●成田空港ユニバーサルデザイン分科会(八千代エンジニアリング株式会社)

くだう
【工藤】4/25、2/14

とうきょう か かん いけんこうかんかい つちや
●東京メトロ・バリアフリー化に関する意見交換会【土屋】9/17

ろせん ひやうかじつけん にほんじどうしやけんきゅうしよ くだう
●路線バス評価実験(日本自動車研究所)【工藤】11/4

の あ くるまいすこていそうちひやうかじつけん つちや
●乗り合いバス 車椅子固定装置評価実験【土屋】11/13

いーばれつとふくししやりやうかいけんこうかんかい つちや
●トヨタe-pallet福祉車両化意見交換会【土屋】11/25

じえいあーるひがしにほん か かん いけんこうかんかい つちや
●J R 東日本・バリアフリー化に関する意見交換会【土屋】12/3

じゃくさ つちや くだう
●ラバトリーモックアップ(JAXA)【土屋、工藤】1/8

べんきやうかい しんりがく まな しあわ い
●さんしょうがいフォーラム勉強会「アドラー心理学から学ぶ 幸せに生きるコミュニケーション」

ひるかわ くだう
【蛭川、工藤】2/7

にほんばしやうていーけんしやう つくばぎじゅつだいがく くだう
●日本橋UD検証(筑波技術大学)【工藤】2/28、3/4

じゃくさこうくき ていあん たい つちや
●JAXA航空機バリアフリーラバトリー提案コンセプトに対するレビュー【土屋】1/8

こうしはけん でまえじゅぎやう
4. 講師派遣、出前授業

ち ばしやうかだいがくこうぎ つちや
●千葉商科大学講義【土屋】6/6

ち ばけんりつほけんいりやうだいがくこうぎ くだう なかそね
●千葉県立保健医療大学講義【工藤、中曽根】6/12

くりつふなほりしやうがっこうでまえじゅぎやう つちや
●区立船堀小学校出前授業【土屋】10/26

じるぜんこく いんかい (ひるかわ)
●JIL全国セミナー:ピアカン委員会【蛭川】6/26

こうつう けんしゅう つちや
●交通サポートマネージャー研修【土屋】7/3、4、9/17、18、11/26、27

ほうりつじやうやく しゅさい
●法律条約3つのセミナー(パルレ主催)

こうりてきはりよ しょうがいしやけんりじやうやく くだう いまむら いりやう じ いちかわ
7/20合理的配慮・10/5障害者権利条約【工藤、今村】12/15医療ケア児【市川】

とうきやうとそうだんしえんじゅうじしやけんしゅうしよにんしやけんしゅうこうぎどうがさつえい ひるかわ
●東京都相談支援従事者研修初任者研修講義動画撮影【蛭川】7/25

● J R 東海サポマネ研修【土屋】7/25
● 令和6年度愛知県障害者ピアサポート研修【蛭川】9/9～9/10
● 東京都相談支援従事者研修初任者研修ファシリテーター説明会【蛭川】9/26
● 令和6年度東京都相談支援従事者研修初任者研修メインファシリ
【蛭川】10/10、10/11、11/19、1/23、1/24
● 令和6年度障害者ピアサポート研修事業に係る指導者養成研修(国研)
【蛭川】10/22～10/23
● 令和6年度東京都障害者ピアサポート研修
【蛭川】11/6、11/11、11/25、1/20、1/30
● ロービジョン友の会アリス 防災研修会【市川、土屋】11/9
● 東京国際空港ターミナル要サポート者対応訓練(車椅子)【土屋】11/28、1/28
● 虐待防止ワークショップ(日本障害者リハビリテーション協会)
【工藤】11/29、12/25、12/26
● 政策討論集会バリアフリー分科会(D P I日本会議)【工藤】12/7
● 令和6年度東京都自立支援協議会セミナー【蛭川】12/9
● 江戸川区内マンション協議会 学習会【市川】1/26
● 障害のある人を支援する防災研修会(リハ協)【市川】2/9
● 鉄道事業者向け研修(国土交通省)【工藤】2/2

5. 取材、インタビュー、ヒヤリング

● J:COM 安心安全課 取材【市川】7～8月
● パラリンピックに関する調査研究(マカオ・セント・ジョゼフ大学)
【蛭川】7/30【土屋】8/7【工藤】8/8
● 交通バリアフリー教材作成協力@新国立競技場(JICA)【工藤】8/5
● ミドリ安全・防災取材【土屋】9/20
● 国土交通省航空局 車椅子搭乗等に関するヒヤリング【土屋】10/24
● 気象庁 障害者への情報伝達等に関するヒヤリング【土屋】11/5
● 長野大学学生卒論協カインタビュー【土屋】11/5
● ユニバーサルデザインに関する取材(法政大学)【工藤】11/8

- 「障 害のある人々の地域づくりへの参画に関する研究 - 協議会に所属する身体障 害のある当事者へのインタビューを通して-」(国際医療福祉大学)【蛭川、今村】11/19
- 国立国会図書館の障 害者サービスに関する次期計画のヒアリング【工藤】12/24
- よみうりランド基本設計ヒアリング(よみうりランド) 【工藤】2/6

6. その他

- 海老原博美基金【工藤】
- ＜第一次選考 選考委員＞4/26 ＜会議＞7/17、10/1、12/24、1/9、1/18、3/5
- 優生保護法国家賠償請求訴訟最高裁判 傍 聴 【工藤】7/3
- 国際協 力ベトナムメンバー関西合宿 【工藤】7/30
- 優生保護法裁判 原告による法務大臣訪問に同行 【工藤】8/2
- 国際協 力ベトナム出張 【工藤】8/20~27
- JIL臨時常 任委員会 傍 聴 【工藤】9/5
- 交通エコロジー・モビリティ財団創立30周年記念式典 【土屋】10/15
- D P I日本会議 U D タクシー 齊乗車運動 【土屋】10/25
- 執筆:新・ノーマライゼーション 5・9・11月号 【市川】
- 執筆:書籍「安全・安心な都市・地域づくり(千葉商科大学)」【市川】

しょうがい ふくし かいご ほけん じぎょう
④障害福祉・介護保険事業

りようしゃすう どうろくすう はけんじかんすう
1)利用者数・ヘルパー登録数・派遣時間数)

かいじょはけん
<介助派遣>

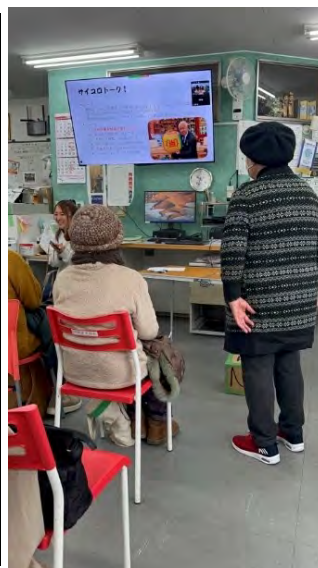
りようしゃすう 利用者数	46人(うち4人介護保険サービス併用) ※新規利用者 3名	
ヘルパー数	男性 35人(うち社員10人) 女性 43人(うち社員9人) ※性別は自身の申告による性別です。	
はけんじかんすう 派遣時間数	じゅうどほうもんかいご 重度訪問介護	54,135.5時間
	きょたくかいご しんたい かじ 居宅介護(身体・家事)	2,239.0時間
	いどうしえん 移動支援	1,759.5時間
	かいごほけん 介護保険	2,077.5時間
	じ ひ ちゅう 自費(注1)	1,318.0時間
はけんじかんすう 派遣時間数	あいえるじ ひ ちゅう I L 自費(注2)	20.5時間
	ごうけい 合計	61,550.0時間

ちゅう じゅうぶん しきゅうけつてい
(注1)十分な支給決定がされず
ふそく かいじょじかん しょうがいふくし
不足する介助時間、または障害福祉
サービスで認められていないけれども
しょうがいしゃ せいかつ ひつようふかけつ
障害者の生活にとって必要不可欠
とされる事柄について介助派遣を行
ったもの。
ちゅう いどうしえん じゅうどほうもんかいご
(注2)移動支援や重度訪問介護の
しきゅうけつてい ひと たいけん
支給決定がされていない人が体験ル
ーム利用中に使ったヘルパー派遣

けんしゅうかい き めのかわゆう
2)ヘルパー研修会(記:布川悠)

こんにちは！ヘルパー研修会を担当しており
ます、コーディネーターの布川です。2024年度の
研修会の内容や様子をご報告させていただきます
す！

2024年度はアイデアが花開く年となり、初め
て企画する内容をいくつか開催することができま
した。特にみんなで企画から盛り上がったのは、
「もしも介助を受けたなら…」(略して「もし介」)
です。



すてっぷ じむしょ かべ
STEPの事務所。壁にか
かっている大きなテレ
ビモニターにサイコロ
トーク！と書かれてい
る。振ったサイコロの
うしろで発表している
ひとりのヘルパーさん。

ひ び かいじょしゃ たちば げんば はい
日々、介助者の立場として現場に入っている
わたくし たちですが、いざ自分が介助を受ける立場に
なったらどう感じるだろうか？「細かい指示だ
な」こころ ころと心でちょっとめんどくさがっちゃうときもあ
ったりしますが、そんな自分にも譲れないこだわり
ってあるんじゃないだろうか？！そんなところに
してん 視点をおいて、みんなで意見を出し合いました。
さまざま 様々なこだわりがでてきて非常に盛り上がると
どうじ 同時に、そのこだわりを介助を受けながら、人に
つた 伝えて実行することのもどかしさみたいなことに
おも 思いを馳せることができました。なんだかこだわ
りって愛おしいです！ひとりひとりの生活を大切

かいじょ
に、これからも介助をしていきたいなあとの
けんしゅうかい とお みんな まな
研修会を通して皆と学びました。

また、コロナ以降ずっと行われていなかった
ちゅうしょくかい けんしゅうかい かいさい
「昼食会つき研修会」も開催することができま
した。みんなで研修会の後に、丸くなってご飯を
た 食べながら雑談、とっても楽しかったです。今後の
さんこう 参考に、おすすめの美味しいお弁当情報もお待ち
しています！

こんご かいじょしゃどうし こうりゅう ば いけんこうかん ば
今後も、介助者同士の交流の場・意見交換の場
として一役買えるよう、面白い企画をたくさん考
えていきたいなと思います。たくさんの方に参加
していただけると嬉しいです！

ねんど けんしゅうかい ぜん 2024年度ヘルパー研修会 全プログラム

かいさいび 開催日	テーマ	さんかになんず 参加人数
ねん がつ にち もく 2024年5月23日(木)	カナダの障害者の暮らしぶりや状況を見てみよう！ こうし かおる 【講師：マクレガー 薫さん】	めい 20名
ねん がつ にち ど 2024年8月10日(土)	ぼうさい かんが 「防災」について考える	めい 18名
ねん がつ にち きん 2024年9月27日(金)	しょうがいしゃうんどう まな 障害者運動におけるファンドレイジングを学ぶ こうし でいーびーあい にほんかいぎ かさやなぎだいすけ 【講師：D P I 日本会議 笠柳 大輔さん】	めい 20名
ねん がつ にち きん 2024年12月6日(金)	アメリカ・ニューヨーク州における脱施設の取り組みと ざいせい 財政について こうし でいーびーあい にほんかいぎ かさやなぎだいすけ 【講師：D P I 日本会議 笠柳 大輔さん】	めい 12名
ねん がつ にち か 2024年12月17日(火)	じ こたいおう かんせんしょうたいさく ヒヤリハット、事故対応・感染症対策	めい 13名
ねん がつ にち げつ 2025年1月27日(月)	しょうがいしゃぎゃくたい かんが 障害者虐待について考える ～アンガーマネジメントの手法紹介～ しゅほうしょうかい	めい 18名
ねん がつ にち げつ 2025年2月17日(月)	かいじょ う もしも介助を受けたなら・・・	めい 14名
ねん がつ にち か 2025年3月18日(火)	ねんど お 年度終わりの「さいころトーク！」何が出るかな♪何が出 るかな♪	めい 14名

3)利用者さん紹介

1. 柳田 空澄さん (記:曾我元)



げいひんかん まえ りょうて
迎賓館の前、両手でピースしているあすむ君。

こんかい しょうかい ひと やなぎだ あすむ
今回ご紹介する人は、柳田空澄くんです。

そ が かいじょ はい
曾我が介助に入らせていただいています。彼と

のコミュニケーション方法は手話です。

ぼく はまだ手話が上手にできていないので

ひょうじょう やジェスチャーで彼に汲み取ってもらい

かいわ 会話しています。(少しずつ単語覚えていきます！す

いません！)

ある日電車に乗っているときに、海外のカップ
ルの女性が空澄くんの隣に座っていました。

あすむ かれし せき ゆず
空澄くんは彼氏のほうに席を譲るジェスチャーを

して、その彼氏もジェスチャーで返事をして・・・そ
のうち彼女が英語で空澄くんに話しかけてきて、
それを和訳して手話に変換して伝えなきゃいけな
いのですが・・・英語と手話の同時通訳は僕にはレ
ベルが高すぎて 頭 真っ白になりました(´▽`;))

ことば つう ことば
言葉が通じなくとも相手の表情やジェスチャーで自分の思いを伝えられるコミュニケーションの高さ！！見習わないといけないなと感じました。
くるま ひと まつば つか かん
車いすの人や松葉づえを使っている方など見かけると道を譲りお手伝いをしようと考えている様子を見ると、とてもやさしさを感じさせてくれます、介助に入りながらいろいろ学ばせてもらっています。

すてっぷ さんか
STEPのイベントなどにも参加してくれて、ダンスを披露してくれています。イベントに参加されたときは是非話しかけてみてくださいね。

あすむ しつもん
そんな空澄くんに質問コーナーです。

いま
1. 今ハマっていることはありますか？

- は
・シール貼り
- きょう あした てんきよほう
・今日や明日の天気予報

す じゅぎょう なん
2. 好きな授業は何ですか？

- さぎょうがくしゅう
・作業学習(ものづくり)
- こくご かんじ
・国語(漢字)

す
3. 好きなキャラクターはいますか？

- ・トーマス
- ・ミッキーマウス

ご両親^{りょうしん}からもメッセージいただいています。
最近^{さいきん}、自己主張^{じこしゅちょう}がより強^{つよ}くなってきて、「これを着^き
たい」「これを履^はきたい」「これを持^もっていきたい」と
よく言^いいます。時季^{じき}などに適^{てき}さない場合^{ばあい}に説得^{せっとく}
することがたいへんですが、これも成^{せい}長^{ちやう}だと、とら
えています。
人見知^{ひとみし}りをしないので、知^しらない人^{ひと}にもついて

いってしまいそうで、心配^{しんぱい}です。

さいご あすむ ひとこと ねが
最後に空澄^{あすむ}くんからも一言^{ひとこと}メッセージをお願い
します！
ひと す いろいろ かた かか
人が好き^すで、色々^{いろいろ}な方^{かた}と関わり^{かか}りたいです。
まだ、なれないこともありますが、たの
さんか
参加^{さんか}したいです。

2. 木城^{きしろ}かなえさん (記:岡本^き莉奈^{おかもとりな})



クリスマスパーティーでマジシャンの眼鏡^{めがね}をか
け、金色^{きんいろ}のモールを首^{くび}に巻^まいているかなえちゃん。

こんかい しょうかい きしろ
今回^{こんかい}、ご紹^{しょう}介^{かい}するのは、木城^{きしろ}かなえ(きしろ か
なえ)ちゃんです！

きよねん どうげこう いどうしえん はい なか
去年^{きよねん}から、登下校^{どうげこう}の移動支援^{いどうしえん}に入り、バスの中
などで手話^{しゅわ}を使^{つか}って会話^{かいわ}をしています。私^{わたし}は、と
きどき手話^{しゅわ}がわからず、オリジナルのジェスチャー
を使^{つか}いますが、それを一生懸命^{いっしょうけんめい}に読み取^よって
しゅわ
れ、「手話^{しゅわ}でこう表^{あらわ}すんだよ！」と手話^{しゅわ}の先生^{せんせい}の

おし
ごとく教^{おし}えてくれます。かなえ先生^{せんせい}です！また、か
なえちゃんは、笑顔^{えがほ}が素敵^{すてき}なしっかり者^{ものや}屋さんで、
わたし
私のリュックサックのチャックが開^あいているとい
つも閉^しめてくれます(笑)。本当^{ほんとう}にお世話^{せわ}になっ
て
ます(^▽^;)STEPのクリスマスなどのイベントにも
さんか
参加^{さんか}してくれてますので、皆^{みな}さんも手話^{しゅわ}で声^{こえ}をか
けてくださいね～！

ここからは、かなえちゃんへの質問^{しつもん}コーナー！

す
1. 好きなキャラクターは？

ほし みずいろ かめ なん
①星^{ほし}のカービィ ②「水色^{みずいろ}」「亀^{かめ}」→何^{なん}のキャラク
ターでしょうか？ ③ヨッシー

す あそ
2. 好きな遊びは？

すべ だい
①滑^{すべ}り台^{だい} ②ブランコ

す きょうか
3. 好きな教科^{きょうか}は？

おんがく こくご
①音楽^{おんがく} ②国語^{こくご}

す きゅうしょく
4. 好きな給^す食^{きゅうしょく}は？

いったく
カレー一^{いったく}択^{たく}！！

4) Youは何しにSTEPへ？(ヘルパー紹介)

すがわら れん
【菅原 蓮さん】



イルミネーションを背景に、トレードマークの
ディダスの帽子を被っている菅原。

はじめまして！この度機会あってご紹介頂ける
ことになりました。自分が如何にしてSTEPえどが
わにやってきたのか等をつらつらと語ってまいり
ます。稚拙な長文になりますがどうぞ最後まで
お読みいただけますと幸いです。

出会いは2024年5月でした。転職活動をし
ていて思い通りにいかず時間だけが流れていた
当時、学生ヘルパーだった恋人からボクの性格や
人柄を見込んで紹介してもらったのが、STEPえ
どがわでした。これまで福祉の『ふ』もまともに知ら

ず & 『付きっきりの介護』のイメージがあったため
に、全くの知らない世界に自信が出ず、不安が募
るばかりでした。けれども学生でなくなってから
学ぶ・知ることの楽しさを覚えてしまった自分は
不安とは裏腹に「車椅子の方の日常生活」への
好奇心と興味が勝り、重かった腰を上げて門を叩
きました。それからがとにかくあっという間でした。
相手の体や好みなどに触れる難しさ・街中の
バリアフリーに目が留まるようになったり・それぞ
れの生活スタイルの違いから発見や学びを感じ
たり・自身の自立生活について見つめ直したり・
感謝や思いといった意思疎通することの有り難み
を知ったり…と、ヘルパーとして携わる中で沢山
のことを思いました。語り始めたら長いタイプな
ので、割愛したざっくりとした表現でごめんなさ
い…しかしながらも、これほどにもまだまだ知らな
い世界があったことを実感しつつも、世の中の広
さなど色々感じたその時からボクは一回り成長
できたように思います。

こんな自分ですが、ロードバイクでレースに出た
り趣味で漫画など描いたり、多くの活動をしな
がら大きな夢を持っています。その中でヘルパーと
しての経験を、いつかの将来や夢に結びつけら
れたらという目標ができました。こんなきっかけ
が無ければ、きっと何も知らずに無頓着に
惰性で生きていたかもしれません。一人でも多く
ものごとをし、たのちよくせつはだみかんかんしゃ
物事を知る楽しさや直接肌身で感じれる感謝に

やりがいよ だれ とどを、こうしてこれを読む誰かに届けられた
ら嬉しいうれです。さいごに、『今のボク』を作ってくれ
た沢山たくさんの方々かたがたへ感謝かんしゃを抱きつつ、まだまだ

あおにさい しんじん おうえん もら がんば
青二才の新人のボクを応援して貰えるよう頑張り
ます、改めてよろしくお願いします！
あらた ねが

5)人材確保のSTEPえどがわの取り組みじんざいかくほ すてっぶ とく き きざわしんたろう(記:鬼澤慎太郎)

◆はじめに

きんねん かいごぎょうかいぜんたい ひとでぶそく しんこくか
近年、介護業界全体で人手不足が深刻化して
おり、特にホームヘルパーの確保は全国的な課題
となっています。東京都の介護職有効求人倍率
は 7.6 倍と突出して高く、この状況は江戸川
区も例外ではありません。

きび じょうきょう なか りようしゃさま きぼう
この厳しい状況の中、利用者様の希望する
じかんたい ていきょう きんきゅうじ たいおう
時間帯へのサービスの提供や、緊急時の対応
が困難になりつつあり、ヘルパーさんには早朝か
ら深夜までの幅広いシフトにご協力いただいで
いるのが現状です。

◆求人活動の取り組み

すてっぶ すこ ぶそく かい
STEPえどがわでは少しでもヘルパー不足を解
しょう しょう しょう
消するためにさまざまな求人活動を行っています。

じんざい きゅうじんしんせい
ハローワークや人材センターへの求人申請、
かくしゃ きゅうじん けいさい えすえぬえす
各社インターネット求人サイトへの掲載、SNS
かつよう すてっぶ かつどう じっし
を活用したSTEPえどがわの活動アピールを実施
しています。その他、大学や専門学校での講義

かいさい じゅうどほうもんかいごじゅうぎょうしゃようせいけんしゅう しかく
開催、重度訪問介護従業者養成研修の資格
しゅとくしえん きゅうじん はいふ ちじんしょうかい
取得支援、求人チラシの配布、知人紹介キャンペ
ーン、そして地元イベントへの参加など色々な
ほうほう と い
方法を取り入れています。

◆今後

こんご かいごじんざい ふそく みこ なか
今後ますます介護人材の不足が見込まれる中
すてっぶ しんじん
で、STEPえどがわでは新人ヘルパーさんの
ていちゃくりつ こうじょう がくせい じゃくねんそう がいこく
定着率の向上や、学生などの若年層、外国
じんざい かくだい ちから い
人材へのアプローチの拡大に力を入れ、また
おおてかい ごじぎょうしゃ たぎょうしゅ じんざいりゅうしゅつ ふせ
大手介護事業者や他業種への人材流出を防
ぐためにも魅力ある職場環境を目指し、採用
かつどう こんご あたら とく
活動においては、今後も新しい取り組みを
せつきよくてき すす
積極的に進めてまいります。

◆終わりに

じんざいかくほ おお かだい む あ しょうがい
人材確保という大きな課題に向き合い、障害を
も かたがた す な ちいき あんしん く
お持ちの方々が住み慣れた地域で安心して暮らせる
よう、安定的なヘルパー派遣と必要なサポートを
けいぞくてき ていきょう たいせい ばんじやく
継続的に提供できる体制を盤石なものにしてい
かつどう おも
けるようにこれからも活動していけたらと思います。

ようせい けんしゅうじぎょう
⑤養成研修事業

じゅうどほうもんかい ごじゅうぎょうしゃようせいけんしゅうおよ
重度訪問介護従業者養成研修及び

かくたんきゅういんとうだいさんごうけんしゅう
喀痰吸引等第三号研修

すてっぷ きほんてき まいつきけんしゅう
STEPえどがわでは、基本的に毎月研修の
かいさい よてい じゅうどほうもんかいごじゅうぎょうしゃ
開催を予定しています。重度訪問介護従業者
ようせいけんしゅう はたら しかく
養成研修は、ヘルパーとして働くための資格で

かくたんきゅういんとうだいさんごうけんしゅう たんきゅういん
あり、喀痰吸引等第三号研修は、痰吸引や
けいかんえいよう い ひつよう かた
経管栄養(胃ろうなど)を必要とする方へ、サービ
ていきよう ひつよう しかく
スを提供するために必要な資格です。

じゅうどほうもんかいごじゅうぎょうしゃようせいけんしゅう
重度訪問介護従業者養成研修 <2024年4月～2025年3月実績>

じっしかいすう 実施回数	かい 5回	4/27.28、6/6.7、8/22.23、9/7.8、12/21.22
じゅこうせい 受講生	のべ18人	

かくたんきゅういんとうだいさんごうけんしゅう
喀痰吸引等第三号研修 <2024年4月～2025年3月実績>

きほんけんしゅう じっしかいすう 基本研修の実施回数	かい 13回	4/8.9、4/23.24、5/12、5/16.23、5/15、8/18、9/23、 10/11.14、11/20.21、11/24、/28.30、2/8、3/8
じゅこうせい 受講生	のべ48人	
ついかけんしゅうじゅこうしゃ 追加研修受講者	のべ181人	

ごうけんしゅう いぜん くら かいごと じゅこうしゃ
3号研修は、以前に比べると1回毎の受講者
にんずう へ じゅこうしゃ どきほん
人数が減ってきています。3号研修は1度基本
けんしゅう う しんき りようしゃ はい ばあい
研修を受けたら、新規の利用者に入る場合は
ついかけんしゅう よ たん きゅういんとういりよう
追加研修のみで良いため、痰の吸引等医療ケア
たずさ ひと じぎょうしょ こてい
に携わる人(事業所)が固定されてきているので
はないかと思われます。

れいわ ねんど がいこくじん にちじょうかいわ にほんご
令和6年度から、外国人(日常会話は日本語が

わかる)の受講の希望があり、最低限理解して欲
しい部分を、わかりやすい言葉に配慮したテキス
しけんもんだい さくせい しょうにんずう がいこくじんむ
ト・試験問題を作成し少人数での外国人向け
こうしゅう かいさい
講習も開催しました。

れいわ ねんど ながねん ひがん
令和7年度からは長年の悲願だったオンデマン
こうしゅう にんか で こうしゅうどうが さくせいとうす
ド講習の認可が出たので、講習動画の作成等進
めていく予定です。(記:市川裕美)

03 その他

期待の新人を紹介！

ひとりめ やまだ めい
【1人目！：山田芽唯】



うみじごく 海地獄というステッカーを持って、鈴音キャラバンのTシャツを着ている山田。

2024年度から新入社員として働いている山田芽唯と申します。ここに来る前は、作業療法というものを学ぶ大学生でした。医療とかリハビリとかいう分野でもありますが、人や想いや暮らしを大事にする学問でそんなところが好きで今も学びつづけています。

私は学生時代STEPでアルバイトをしたことはないのですが、皆さんご存知ピンクセイバー”おかりな”先輩を通して出逢い、STEPが掲げる『自立生活』特に自己選択・自己決定・自己責任という

部分に惹かれて、STEPに関わる皆さんが大切にする暮らしを学ばせて貰いたいと思い、今ここにいます。

1年間いて色々得たものはあるけれど、何よりSTEPで出逢う方々は魅力的すぎる！！共通しているのは、それぞれの人がどうしたいかを大切にしようとしている部分かもしれません。何かを頑張っていると置き去りにしてしまいやすい部分だと思うので、簡単にできることじゃないと思います。

あとはヘルパーとして利用者さんの暮らしをお手伝いしたとき、自分自身の私生活でも活かしたくなるような暮らしの中のたくさんの工夫が張り巡らされていて勉強になります！

いつも育てていただき、ありがとうございます。私も誰かの役に立てるよう、自分出来ることを考えながら精一杯頑張ります！よろしくお願いいたします！

ふたり め なかや
【2人目！：中屋なつみ】



クリスマスパーティーでギャルメイクをしてピースをする中屋。

こんにちは。4月から介助社員としてSTEPに
入社した中屋なつみです。私は大学時代に
学生寮に入っており、そこで一緒に生活してい
た先輩がSTEPでアルバイトをしていました。

寮内での新入生歓迎会で、その先輩から仕事
の内容を聞き、興味を持ったことがSTEPと私の
出会いでした。

実際に介助をしてみると難しいこともありまし
たが、やりがいや多くの気づきがありました。特に
印象に残っているのは、通学時によく使ってい
た駅を外に出介助で使った時のことです。普段
の通学では、エスカレーターを使ってスムーズに乗
り換えができていましたが、介助ではエレベーター
の場所が遠く不便さを実感しました。また、スロー
プを使って電車に乗るときに、駅員さんが来るタ
イミングが合わず電車を1本逃してしまったことも
ありました。日々の生活で気づけなかったバリア
を自分で体験して、利用者さんの目線に立つこと
の大切さを痛感しました。

今後利用者さんの声に耳を傾けながら、
自分自身も学び続け、よりよい介助ができるヘル
パーになりたいと思っています。物事を覚えるこ
とがあまり得意ではありませんが、温かく見守っ
ていただけますとありがたいです。よろしくお願い
します。



2)STEPえどがわの活動報告(2024)と活動方針(2025)

■2024年度活動報告

STEPえどがわで予定していた活動自体は、全体を通して大きな変更はなく、ほぼ予定通りの活動が実施できた。しかし、理事長の配偶者の急逝。全国自立生活センター協議会(JIL)を巡る一連の騒動及び、長年JILを率いて来てIL運動の礎を築いて下さった中西正司氏の死去。STEPえどがわ設立前から私たちを応援して下さり、区内での様々な横のつながりを作ってく下さった一般社団法人オリオンの代表でSTEPえどがわの正会員でもあった井口慎吾氏の死去など、STEPえどがわの設立・運営に直接的、間接的に影響を与えて下さっていた方々が相次いで亡くなられ、当方を取り巻く状況や環境に大きな変化が起きたという意味では、大変大きなインパクトのあった年度となった。今後のターニングポイントになり得る年度であったと言える。

さて、今年で3回目となる東京演劇集団「風」とのコラボ企画、バリアフリー演劇。昨年度の好評を受け、今年度は2日間公演とした。演目は昨年と同じ「星の王子さま」ではあったが、劇中に会場から参加してもらう役があり、2日間とも別の方々に演技をいただいた。とても印象的だったことは、この演劇の特色でもある「みんな参加」を象徴するかのよう、劇中にも会場からお子さんたちがたくさん舞台へ上がり、まさに一緒にお芝居を楽しんでいる姿があったこと。演劇は、迷惑にならないように静かに鑑賞するものという概念を覆し、誰もがそれぞれの楽しみ方で鑑賞するという形を、目の当たりにすることができた。「自由と野放しは違う」という批判の声もあるにはあったが、これこそがインクルーシブという評価も高く、特に今年度から江戸川区の後援も頂き、ますます「継続は力なり」を実感できた。当初集客が見込めるのか若干の不安はあったものの、昨年度からのリピーターや初めて来てくれた方などで2日間とも満員となり大成功となった。ただ、クラウドファンディングは頭打ちの感否めず、今後の資金調達は大きな課題である。

地域イベントへの参加も積極的に行った。昨年から開催している特別支援学校、学級在生徒の卒業後を考えるイベント進路フェアや手話フェスティバルへ参加し、区内の関係団体等との繋がり、STEPえどがわのアピールができたのではないかと考える。

3年間にわたり行われてきたJILのJICA国際協力プロジェクトの最終年度は5カ国(パキスタン、ネパール、カンボジア、ベトナム、モンゴル)に分散して、訪問希望国にそれぞれのチーム単位で行くことができた。STEPからは、工藤、布川がベトナムへ、土屋、田中、原嶋がモンゴルへ行ってきた。途上国の障害者団体を支援するという目的ではあったが、その国の現状・環境・生活等を生で

見聞きすると、日本との文化や制度、価値観などの違いは当然あるものの、苦労している根本的な問題は共通していることに気づかされるなど、こちら側としても得られるものがとても大きかったと感じる。この3年間の国際協力プロジェクトに参加できたことは、今後のSTEPの活動に活かせる良い経験・体験になっている。

防災も引き続き継続して活動している。これまで2回の集団広域避難訓練を行ってきたが、これはすべてある程度事前に予測可能な、水害を想定したものだった。今年度は震災を想定し、STEP事務所での災害対策本部起ち上げシミュレーションを行った。もちろん事務所が何とか使えるという被災での想定ではあるが、事務所機能、介助派遣等継続のための確認作業や訓練を行い、課題や問題点の整理をした。

外部との連携事業や交流も多く行われた。とりわけ、JILの合理的配慮キャラバン「鈴音がいなく！」では、STEPが取り組んできた「情報保障」をベースに当方の中曽根鈴音が全国23ヶ所を周り、各地の若手の掘り起こし、新しいつながりを作り出してくれた。鈴音について各地に同行したSTEPのコーディネーターたちにとっても、各地のCILとの交流が深まり、楽しく貴重な経験をし、成長の場となった。

ダンサナクセイバーショーの映像化を、田中悠輝監督にお願いして2パターン作成できた。今後はこの映像を活用した授業等を展開していきたい。

＜取り組めた事業＞

- 個別相談・ILP
・修学支援事業
・就労支援特別事業
- 会議・研修・イベント等のオンラインも含めた開催
・各種ミーティング、ヘルパー研修
・第6回映画上映「大空へはばたこう～自立への挑戦～」& アフタートーク2回開催
・江戸川ろう者協会主催「えどがわ手話フェスティバル2025」参加
・第2回江戸川区特別支援学級・学校進路フェア参加
・クリスマス会
- 江戸川区地域自立支援協議会及び2つの部会(地域生活支援拠点、災害時自立支援)への参加
- バリアフリー演劇「星の王子さま」& 劇団風とナクセイバーコラボ2日間上演

5. STEP災害対策本部起ち上げシミュレーション
6. 合理的配慮キャラバン(鈴音と男女のコーディネーターによる他のCIL訪問)
ぜんこく しよ
全国23か所
7. JIL-JICA国際協力事業国内研修・海外研修(ベトナム、モンゴル)
8. トヨタe-pallet意見交換会
いーぱれっといけんこうかんかい
9. 学校関係、講師依頼
がっこうかんけい こうしらい
・インクルーシブな学び東京コンソーシアムによる都立高校授業 4校
まな とうきよう とりつこうこうじゅぎょう こう
・区内中学生の職場体験チャレンジ・ザ・ドリーム 2校
くないちゅうがくせい しよくばたいけん こう
・区内小学校出前授業 1校
くないしょうがっこうでまえじゅぎょう こう
・近隣大学講義 10大学
きんりんだいがくこうぎ だいがく
・東京福祉専門学校実習受け入れ
とうきようふくしせんもんがっこうじっしゅう う い
・浦安市の医療的ケア児者の団体(パルレ)から3回の勉強会講師派遣
うらやすし いりようてき じしや だんたい かい べんきょうかいこうしはけん
10. 江戸川区の介護保障を確立する会の活動
えどがわく かいごほしょう かくりつ かい かつどう
11. えどがわさんしょうがいフォーラム
そうかつしよけん かつよう たいがいじぎょう
12. 総括所見を活用した対外事業
でいーびーあいだつしせつべんきょうかい
・D P I 脱施設勉強会
でいーびーあいぜんこくしゅうかい せいさくとうろんしゅうかい
・D P I 全国集会、政策討論集会
でいーびーあい とうだい きょういくれんけいきょうてい もと とうだい しゃかい けいはつじゅぎょう
・D P I ×東大のインクルーシブ教育連携協定に基づく東大での社会モデル啓発授業
こうろうしょうそうごうふくしじぎょう しょうがいしや ちいきしえん ぶく しょうがいしやしえんしせつ あ がたけんきゅう いいん
・厚労省総合福祉事業「障害者の地域支援も含めた障害者支援施設の在り方研究」委員
いまむら
(今村)
こうろうしょうか けん ひ ちいきせいかつしえんきよてんとう ちいきいこう すす やくわりおよ きんきゅうじ たいおう
・厚労省科研費「地域生活支援拠点等における地域移行を進めるための役割及び緊急時の対応に
やくわり めいかくか けんきゅう いいん いまむら
おける役割の明確化のための研究」委員(今村)
いちばんかんけいやく けんとう
13. 壱番館契約・リノベーション検討
えいぞうか
14. ダンサナクセイバーショーの映像化
みずええきまえしょうてんかい かにゅう
15. 瑞江駅前商店会への加入

■2025年度活動方針

毎年恒例になりつつある、東京演劇集団「風」& ナクセイバーコラボイベントのバリアフリー演劇は今年度も4年連続で2月にタワーホール船堀小ホールで開催予定である。一方、今年度以降、区内の特別支援学校を含む学校の体育館にて上演できないかと模索中である。在校生や卒業生をはじめ親御さん、関係者等、これまでの会場に足を運ぶのが難しかった方々でも、行き慣れている場所であれば来やすいのではないかと期待が膨らむ。またコロナ禍で中断してしまった都立鹿本学園(旧都立江戸川特別支援学校)の授業の再開など、関係強化を図りたいという目論見もあり、今年度を機にぜひとも実現させたい。

防災では今年度は2日間に分けて勉強会を行う。東日本大震災を経験した障害当事者(車椅子ユーザー)や、能登地震の復興支援に関わっておられる聴覚障害のある方を講師にオンラインでお招きする。2日目は熊本地震を経験し、民間のパワーで福祉避難所(合理的配慮避難所)の運営に携わった支援者に直接お越しいただく。講師に当事者、支援者、事業者等の様々な視点からお話しいただくことで、多くの参考、そして気づきに繋がると期待する。STEP内だけの勉強会とはせず、役所、区内の福祉系事業所にも声を掛け、地域の連携、防災意識向上につなげたい。

今年度から壱番館リノベーションプロジェクト(第2相談室の隣の喫茶店が空いたことで、1階の全フロアーをリノベーションして活用)が本格的に動き出す。破格の好条件で賃貸契約を交わすことができ、じっくりと時間をかけて改修に臨めるため、東洋大学の菅原教授の協力を得て、建築やまちづくり関係の学科の学生を巻き込んだコンペを行う予定である。これによりSTEP内だけでは生まれなかった発想にも期待している。このプロジェクトを通じて、今まで以上のつながりが広がるのではないかと期待は大きい。完成後はSTEPのイベントのみならず、レンタルスペースとして地域に開放することで、地域とのつながりや、魅力ある企画なども考えていきたい。魅力ある「場」にすることで、自然と人も集まる地獄づくりの一役買いと共に慢性的な人材不足の解消にもつなげたい。

知的障害者支援プロジェクトも立ち上がる。その第一弾として、東大阪市の「自立支援センターぱあとなあ」のみなさんをお招きし、「ぱあとなあ」が取り組んでこられた強度行動障害のある方々の支援についてお話を伺う。

今年度からSTEPえどがわと関係の深い「NPO法人青洞の家」が生活介護事業を開始した。事業が軌道に乗り経営が安定するまでの間、約1年を目処に当方人の蛭川涼子を概ね週一のペース

はけん おうえん とうほう かいごほけんへいきゅうしゃ りようかのう きょうせいがたじぎようしよしていしゅとく
での派遣で応援する。当方の介護保険供給者も利用可能になるよう、共生型事業所指定取得を
めざ
目指す。

じゅうどほうもんかいご ほうもんけい じゅうよう しゅうにゅうげん たしやうげんしゅう
重度訪問介護サービスなど、訪問系サービスが重要な収入源ではあるが、多少減収になって
しんこく じんざいがそく さいがいじ きんきゅうじとう りようしゃ ばんさん しんきじぎよう とく
も、深刻な人材不足と災害時、緊急時等における利用者のリスク分散、および新規事業に取り組ん
でいくこととも考慮し、他事業所利用との組み合わせ、事業の外注、専門学校とのタイアップによる
がいこくじんりゅうがくせい う い こころ
外国人留学生の受け入れなども試みていく。

えどがわく ちいきせいかつしえんきよてんがかい ひるかわ いまむら りてん い くない
江戸川区の地域生活支援拠点部会のメンバーに蛭川と今村が入っている利点を活かし、区内で
きよてん れんけい ていねい こうちく あわ ひつよう ひと ひつよう しきゅうりよう しきゅうけつてい
拠点の連携を丁寧に構築していきたい。併せて必要な人に必要な支給量がスムーズに支給決定さ
れる仕組みや考え方を江戸川区と意見交換しながら一緒に考えていきたい。

ぜんこくそしき たいがいじぎよう じる こんご どうこう おお さゆう おも た しーあいえる
全国組織としての対外事業はJILの今後の動向に大きく左右されると思うが、他のCILとも
じょうほうこうかん でいーびーあい じく けんとう
情報交換しつつ、DPIを軸に検討していきたい。

かつどうよていじぎよう <活動予定事業>

1. 個別支援の継続、ILPの実施
2. STEP防災勉強会(被災当事者、支援者をお招きし開催)
すてっぷぼうさいべんきようかい ひさいとうじしゃ しえんしゃ まね かいさい
3. 壹番館リノベーション
いちばんかん
4. イベント、ナクセイバー上演等
じょうえんとう
すてっぷがていれい なつまつ
・STEP定例イベント(夏祭り、クリスマス)
りんじえいがじょうえいかい こうどう きせき じっしず
・臨時映画上映会「ブックマン・マーク行動の軌跡」&トークショー(実施済み)
だい かいえいがじょうえいかい じょうえいえいがみてい
・第7回映画上映会(上映映画未定)
・つながりフェスタ(実施済み) じっしず
みずええきまえしやうてんかい たなばた
・瑞江駅前商店会イベント(七夕、ハロウィン)
・はるえフェス
とうきやうえんげきしゅうだん かぜ あんど えんげき
5. 東京演劇集団「風」& ナクセイバーコラボイベント、バリアフリー演劇
がっこうかんけい こうしいらい
6. 学校関係、講師依頼
くないちゅうがくせい しよくばたいけん
・区内中学生の職場体験チャレンジザ・ドリーム
くないしやうがっこうでまえじゅぎよう
・区内小学校出前授業
とうきやうふくしせんもんがっこう くない じっしゅうせいうけい
・東京福祉専門学校(区内)実習生受入れ

きんりんだいがくこうぎ
・近隣大学講義

まな どうきょう とりつこうこうじゅぎょう きんりんだいがくこうぎ
・インクルーシブな学び東京コンソーシアムによる都立高校授業・近隣大学講義

すてっぷ ちてきしょうがいじしやしえん
7. STEPえどがわ知的障害児者支援プロジェクト

いーぱれっとしじょう いけんこうかんかい じっしず
8. トヨタe-pallet試乗・意見交換会(実施済み)

でいーびーあい どうだい きょういくきょうてい もと どうだいしゅうちゅうこうぎ じっしゅうう い
9. D P I-東大フルインクルーシブ教育協定に基づく東大集中講座の実習受け入れ

そうかつしよけん かつよう たいがいじぎょう
10. 総括所見を活用した対外事業

こうろうしやう しょうがいしや ちいきせいかつしえん ふ しょうがいしやしえんしせつ あ かたけんとうかい いまむら
・厚労省：障害者の地域生活支援も踏まえた障害者支援施設の在り方検討会(今村)

こうろうしやう ちいきせいかつしえんきよてんどう ちいきこう すす やくわりおよ きんきゅうじ たいおう
・厚労省：地域生活支援拠点等における地域移行を進めるための役割及び緊急時の対応におけ
る役割の明確化のための研究(今村)

こっこうしやう かくしゆけんとうかい いけんこうかんかい しさつとう いまむら くだう つちや
・国交省：各種検討会、意見交換会、視察等(今村、工藤、土屋)

ざいだん ぱりあふりー ようせいけんしゅう けんしゅう つちや
・エコモ財団：B F リーダー養成研修、サポートマネージャー研修(土屋)

かんきょうしやう こくりつこうえん いまむら くだう
・環境省：国立公園バリアフリーチェック(今村、工藤)

ないかくふ なかそね
・内閣府：ともともフェスタ(中曽根)

とうきやうと そうだんしえんせんもんいんけんしゅう ようせいけんしゅう ひるかわ
・東京都：相談支援専門員研修、ピアサポーター養成研修(蛭川)

えどがわく ちいきせいかつしえんきよてんぶかい ひるかわ いまむら
・江戸川区：地域生活支援拠点部会(蛭川、今村)

みんかん えそうれん ひるかわ いどうれん めのかわ しょうだんれん かぜけんきゅうかい ちいきしえん すずね
・民間：江相連(蛭川)、移動連(布川)、障団連、風研究会・地域支援ネット(鈴音)

書式第13号（法第28条関係）

2024年度 活動計算書				
2024年 4月 1日から 2025年 3月 31日まで				
特定非営利活動法人 自立生活センター STEPえどがわ				
(単位：円)				
科目		金額		
I 経常収益				
1 受取会費				
正会員受取会費				
賛助会員受取会費		15,000	15,000	
2 受取寄附金				
受取寄附金		70,528	70,528	
3 受取助成金等				
江戸川区社会福祉協議会【1】ピアカウンセリング集中講座		79,000		
江戸川区社会福祉協議会(共同募金)【2】映画上映会		160,000		
高齢障害求職者雇用支援機構(手話通訳・要約筆記等)		53,250		
高齢障害求職者雇用支援機構(住宅助成金)		441,283		
重度障害者等通勤対策助成金(駐車場助成金)		198,000		
東京都福祉障害企画奨学金返済補助金		89,000		
			1,020,533	
4 事業収益				
自立支援事業				
体験ルーム利用料	48,000			
介助派遣自費利用	731,250			
その他	764,800			
		1,544,050		
権利擁護を推進する事業				
イベント収入(参加費、入場料など)	35,500			
講師謝礼収入	1,480,880			
クラウドファンディング【3】バリアフリー演劇	1,328,220			
その他	0			
		2,844,600		
総合支援法の障害福祉サービス事業		248,566,510		
介護保険法の居宅介護サービス事業		9,258,489		
居宅介護従事者養成研修事業		1,004,468		
			263,218,117	
5 雑収入				
		0	0	
経常収益計				264,324,178
II 経常費用				
1 事業費				
(1)人件費				
給料手当	161,889,404			
賞与	38,123,211			
通勤交通費	4,587,093			
法定福利費	26,617,136			
福利厚生費	772,159	231,989,003		
(2)その他経費				
広告宣伝費	697,630			
運賃	0			
イベント関連	126,408			
イベント関連【3】バリアフリー演劇	1,500,000			
印刷外注費	128,729			
印刷外注費【2】上映会	2,112			
印刷外注費【3】バリアフリー演劇	8,390			
会場費	31,430			
会場費【1】ピアサポート活動				
会場費【2】上映会	76,220			
会場費【3】バリアフリー演劇	80,020			
会場設営費				
会場設営費【2】上映会	1,560			
会場設営費【3】バリアフリー演劇				
賃借料	1,632,500			
修繕費	0			
消耗品費	85,787			
水道光熱費	94,432			
旅費交通費	341,139			
旅費交通費【3】バリアフリー演劇	15,000			
支払手数料				
支払手数料【3】避難訓練				
諸謝金	30,000			
諸謝金【1】ピアカウンセリング集中講座(交通費込み)	125,300			
諸謝金【2】上映会	77,964			

情報保障費	160,240			
情報保障費【1】ピアカウンセリング集中講座	29,132			
情報保障費【2】上映会	54,104			
情報保障費【3】バリアフリー演劇	25,000			
支払保険料	15,000			
租税公課				
減価償却費				
接待交際費	4,494			
通信費	94,235			
諸会費	0			
車両関連費				
新聞図書費	0			
貸倒引当金繰入				
顧問料				
会議費				
会議費【2】上映会	8,972			
会議費【3】バリアフリー演劇	89,763			
研修費				
保守管理費				
リース料				
寄付金				
雑費				
	5,535,561			
事業費計			237,524,564	
2 管理費				
(1)人件費				
給料手当	8,645,200			
賞与	0			
通勤交通費	0			
法定福利費	1,205,952			
福利厚生費	0	9,851,152		
(2)その他経費				
広告宣伝費	220,000			
運賃	2,410			
イベント関連				
印刷外注費	267,629			
会場費				
会場設営費				
賃借料	6,508,768			
修繕費	22,920			
消耗品費	535,475			
水道光熱費	386,907			
旅費交通費	103,630			
支払手数料	222,130			
諸謝金				
情報保障費				
支払保険料	638,255			
租税公課	3,450			
減価償却費	294,524			
接待交際費	342,427			
通信費	983,223			
諸会費	760,729			
車両関連費	109,340			
新聞図書費	22,440			
貸倒引当金繰入	50,816			
顧問料	3,128,133			
会議費				
研修費	1,263,915			
保守管理費	224,494			
リース料	969,801			
寄付金	1,030,749			
雑費	343,271			
	0			
	0			
	18,435,436		28,286,588	
管理費計				
経常費用計				265,811,152
当期経常増減額				-1,486,974
Ⅲ 経常外収益				
受取利息	15,929			
その他	0	15,929		
経常外収益計				15,929
Ⅳ 経常外費用				
支払利息	0			
法人税等充当額	15,200	15,200		
経常外費用計				15,200
税引前当期正味財産増減額				-1,486,245
法人税、住民税及び事業税				0
当期正味財産増減額				-1,486,245
前期繰越正味財産額				36,944,845
次期繰越正味財産額				35,458,600

書式第16号(法第28条関係)

令和 6 年度 計算書類の注記

特定非営利活動法人 自立生活センター STEPえどがわ

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、 会社会計規則 によっています。

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
対象資産なし
- (2) 固定資産の減価償却の方法
定額法
- (3) 引当金の計上基準
 - ・退職給付引当金
なし
 - ・引当金
- (4) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理
なし
- (5) 消費税等の会計処理
税込み

2. 事業別損益の状況

(単位:円)

科目	自立支援	権利擁護	障害福祉	介護保険	養成研修	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益						0		
1. 受取会費						0	15,000	15,000
2. 受取寄附金						0	70,528	70,528
3. 受取助成金等						0	1,020,533	1,020,533
4. 事業収益	1,544,050	2,844,600	248,566,510	9,258,489	1,004,468	263,218,117	0	263,218,117
経常収益計	1,544,050	2,844,600	248,566,510	9,258,489	1,004,468	263,218,117	1,106,061	264,324,178
II 経常費用								
(1) 人件費								
給料手当	949,651	1,749,540	152,878,094	5,694,332	617,787	161,889,404	8,645,200	133,997,031
賞与	223,633	411,998	36,001,145	1,340,954	145,482	38,123,211	0	22,427,955
通勤交通費	26,908	49,573	4,331,760	161,347	17,505	4,587,093	0	4,239,147
法定福利費	156,137	287,652	25,135,537	936,237	101,574	26,617,136	1,205,952	24,627,624
福利厚生費	4,530	8,345	729,178	27,160	2,947	772,159	0	798,819
人件費計	1,360,859	2,507,107	219,075,714	8,160,030	885,294	231,989,003	9,851,152	241,840,155
(2) その他経費								
広告宣伝費		264,000	433,630			697,630	220,000	917,630
運賃						0	2,410	2,410
イベント関連	6,029	1,620,379				1,626,408		1,626,408
印刷外注費		97,530	41,701			139,231	267,629	406,860
会場費		187,670				187,670		187,670
会場設営費		1,560				1,560		1,560
賃借料	1,632,500					1,632,500	6,508,768	8,141,268
修繕費						0	22,920	22,920
消耗品費	4,378		80,312	1,097		85,787	535,475	621,262
水道光熱費	94,432					94,432	386,907	481,339
旅費交通費	32,020	323,939			180	356,139	103,630	459,769
支払手数料						0	222,130	222,130
諸謝金	125,300	77,964	30,000			233,264		233,264
情報保障費	29,132	111,512	17,500		110,332	268,476		268,476
支払保険料	15,000					15,000	638,255	653,255
租税公課						0	3,450	3,450
減価償却費						0	294,524	294,524
接待交際費		4,494				4,494	342,427	346,921
通信費	69,080	25,155				94,235	983,223	1,077,458
諸会費						0	760,729	760,729
車両関連費						0	109,340	109,340
新聞図書費						0	22,440	22,440
貸倒引当金繰入				7		0	50,816	50,816
顧問料						0	3,128,133	3,128,133

資料2

会議費		98,735				98,735		98,735
研修費						0	1,263,915	1,263,915
保守管理費						0	224,494	224,494
リース料						0	969,801	969,801
寄付金						0	1,030,749	1,030,749
雑費						0	343,271	343,271
						0		0
						0		0
						0		0
						0		0
						0		0
法人税等充当額						0	0	0
その他経費計	2,007,871	2,812,938	603,143	1,097	110,512	5,535,561	18,435,436	23,970,997
経常費用計	3,368,730	5,320,045	219,678,857	8,161,127	995,806	237,524,564	28,286,588	265,811,152
その他収益								
貸倒引当金戻入								
受取利息							15,929	15,929
その他費用								
法人税等充当額							15,200	15,200
当期経常増減額	-1,824,680	-2,475,445	28,887,653	1,097,362	8,662	25,693,553	-27,179,798	-1,486,245

3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

(単位:円)

内容	金額	算定方法
当該 なし		

4. 使途等が制約された寄附金等の内訳

使途等が制約された寄附金等の内訳(正味財産の増減及び残高の状況)は以下の通りです。
当法人の正味財産は 円ですが、そのうち 円は、下記のように使途が特定されています。
したがって使途が制約されていない正味財産は 円です。

(単位:円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
当該 なし					
合計					

5. 固定資産の増減内訳

(単位:円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
建物付属設備	6,932,709			6,932,709	6,932,708	1
車両運搬具	153,000			153,000	152,999	1
什器備品	3,157,000			3,157,000	3,156,999	1
リース資産						
無形固定資産						
ソフトウェア	407,000			407,000	291,683	115,317
投資その他の資産						
敷金						
保証金						
合計	10,649,709	0	0	10,649,709	10,534,389	115,320

6. 借入金の増減内訳

(単位:円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長期借入金	0		0	0
合計	0	0	0	0

7. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

資料2

(単位:円)		
科目	計算書類に 計上された 金額	内役員及び 近親者との 取引
(活動計算書)		
活動計算書計		
(貸借対照表)		
貸借対照表計		

8. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項
- ・ 事業費と管理費の按分方法
 - ・ その他の事業に係る資産の状況

3) 会員制度「ダンスなくし隊」の紹介「隊員募集！」

STEPえどがわでは会員制度をリニューアルし「ダンスなくし隊」としてスタートしました。そのなかで誰もが住みやすい街を目指したMMIプロジェクト「瑞江の街を、めっちゃめっちゃ、インクルーシブな街へ」を行っています。瑞江のお店に段差を解消するためにスロープを置いたり聴覚障害者等とのコミュニケーションを補助する筆談ボードを置かせてもらったりと、誰もがどんな時でも暮らしやすい街づくりを目指した活動です。ここ2年程コロナ禍の影響もあり思うような活動が出来ていませんが、少しずつ日常生活を取り戻してきていますので、STEPえどがわの活動を応援して下さい方を募集しています。





ダンスなくし隊 隊員募集!
みんなでつくろう! 誰も取り残さないインクルーシブな社会
～誰もが、行きたいところへ、行きたいときに、行けるまちへ～

選べるサポート形態



マンスリーサポーター



マンスリーサポーターとは、毎月定額を寄付して頂くことで活動をご支援いただく STEP えどがわの新会員制度です。



正会員、賛助会員



毎年定額を寄付して頂くことで、活動をご支援いただく会員制度です。正会員には総会での議決権があり、STEP えどがわの運営等にも積極的な関与をご希望される方が対象です。



ご寄付



ご都合のよい時に、ご自由な金額・回数でご寄付いただけます。いただたご寄付は、誰もが住みやすいインクルーシブなまちづくりに有効に活用させていただきます。

詳しくはSTEPえどがわのホームページをチェックしてください♪

「ダンスなくし隊、隊員募集!!」

<http://www.step-edogawa.com/dansa-nakushitai/>





はっこう
発行

とくていひえいりかつどうほうじん
特定非営利活動法人

じりつせいかつ すてっぷ
自立生活センターSTEPえどがわ

とうきょうとえどがわくみなみしのぎまち
〒133-0065 東京都江戸川区南篠崎町3-9-7

でんわ ふあつくす
TEL 03-3676-7422 FAX 03-3676-7425

うえぶ
WEB <http://www.step-edogawa.com>

めーる
Mail main@step-edogawa.com

へんしゅう
編集

しゅうろうけいぞくしえんびーがたじぎょうしょ
就労継続支援B型事業所

トリコローレ

とうきょうとえどがわくえどがわ かい
〒132-0013 東京都江戸川区江戸川2-33-21 1階

でんわ ふあつくす
TEL 03-6638-9308 FAX 03-6638-9307

うえぶ
WEB <http://www.tricolore-gp.org>

めーる
Mail info@tricolore-gp.org